

**令和6年度(2024年度)**  
**横浜国立大学**  
**一般選抜学生募集要項**

**YNU** 横浜国立大学  
YOKOHAMA National University

## 不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供

自然災害、人為災害や疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、選抜日程・方法等を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

・横浜国立大学 ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/>

### ChatGPT をはじめとする生成AI の利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成AI に対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

#### 注意事項

生成AI に入力した情報は、AI の学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

# 目 次

□ 横浜国立大学一般選抜日程の概要	1
1 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
2 入学者選抜の実施方式等	7
3 募集人員	8
4 出願資格	9
5 試験教科・科目	11
6 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談	24
7 前期日程	
I 出願手続等	26
II 入学者選抜方法等	
1. 試験科目設定の意図	33
2. 2段階選抜	35
3. 個別学力検査等日程（前期日程）	36
4. 合格者発表	37
5. 入学手続	38
8 後期日程	
I 出願手続等	39
II 入学者選抜方法等	
1. 試験科目設定の意図	45
2. 2段階選抜	46
3. 個別学力検査等日程（後期日程）	47
4. 合格者発表	47
5. 入学手続	48
□ Web 出願の流れ	50
9 入試情報の提供等	
I 入試情報の提供	
1. 横浜国立大学ウェブサイト	54
2. 入試情報の開示	54
II 個人情報の取り扱い	55
10 入学料および授業料の免除・徴収猶予制度	56
□ 学生の住居施設	57
・受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表	61
・横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト	64
・キャンパス案内図	65
・（様式1）自己推薦書（教育学部用）	66
・（様式2）自己推薦書（経済学部・経営学部・理工学部・都市科学部用）	70

# 横浜国立大学一般選抜日程の概要

大学入学共通テスト  
令和6年(2024年)1月13日(土)・14日(日)

一般選抜(分離分割方式)

**前期日程**

**後期日程**

ウェブ出願登録期間  
令和6年(2024年)1月15日(月)～2月2日(金)

郵送出願期間  
令和6年(2024年)1月22日(月)～2月2日(金)

第1段階選抜の結果発表  
2月13日(火)  
〔経済学部、経営学部、理工学部〕

第1段階選抜の結果発表  
2月20日(火)  
〔経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部〕

受験票通知予定日  
2月13日(火)

受験票通知予定日  
2月20日(火)

個別学力検査等  
2月25日(日)

個別学力検査等  
3月12日(火)

合格者発表  
3月7日(木)

合格者発表  
3月21日(木)

入学手続  
3月8日(金)～3月15日(金)

入学手続  
3月22日(金)～3月27日(水)

欠員の補充等(追加合格等) 3月28日(木)～

令和6年度 入学式  
日程未定

# 1 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## 【横浜国立大学（YNU）が求める学生像】

YNUは、4つの実践的「知」すなわち「知識・教養」「思考力」「コミュニケーション力」「倫理観・責任感」を身に付けた人材の育成を目指す。よって、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語り、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探究・解決能力を身に付け、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会への貢献を目指す次に示す人の入学を求める。

- 入学後の修学に必要な幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身に付けたい人
- 知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイデアを創造する思考力や判断力を獲得したい人
- 社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人
- 国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人
- 大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身に付け、高度専門職業人として社会に貢献したい人

## 【横浜国立大学（YNU）の大学入学者選抜の基本方針】

YNUの大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（Policy1 ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy2 カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる入学志願者に求める学力を構成する3つの要素（※）を多面的・総合的に評価するものとする。学部、学科・課程は、高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、次に掲げる学力検査の実施方針に基づき入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努める。

### （※）学力を構成する3つの要素

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能
- ・ 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力
- ・ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

YNUでは、学士課程における教育目標の達成のため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーに加え、学士課程教育の質保証の方針（教学マネジメントPDCA・ポリシー）を含めた4つの方針について明確化し、公表しています。<https://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative/>

## 学力検査等の実施方針

- 個別学力検査等は、高等学校学習指導要領に準拠し、高等学校教育の正常な発展の障害とならないよう十分留意し、適切な方法により実施する。
- 個別学力検査等を実施する教科・科目は、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに、卒業認定・学位授与の方針（Policy1ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy2カリキュラム・ポリシー）を踏まえ設定する。
- 総合型選抜は、知識・技能の修得状況に重点を置いた選抜基準とせず、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力、適性、意欲、関心等を多面的、総合的に判定する。
- 学校推薦型選抜は、高等学校の教科の学習成績概評を出願要件や合格判定に用い、筆記や実技、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力・適性等を多面的、総合的に判定する。
- 帰国生徒選抜・外国学校出身者選抜・社会人選抜は、外国における教育事情の違いや高等学校等卒業後の年月の経過などに鑑み、広く入学志願者の能力・適性等に応じ選抜がなされるよう学力検査の全部又は一部免除を図り、小論文や面接等を適切に組み合わせて入学志願者の能力・適性等を多面的、総合的に判定する。

## 各学部の入学者受入方針

### 1. 教育学部

教育学部の教育理念は、教育現場の未来を支えるべく、多面的かつ包括的な視野と洞察力とを兼ね備え、社会の変化に柔軟に対応できる次世代の教員養成を目指すことにある。教育学部（学校教員養成課程）は、学校教育に関心が高く、教員として子供の学びへの支援の方法を能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する、次に示す人を求める。

- 教員として、子供とコミュニケーションをとりながら共に学び続けたい人
- 学校教育の充実、創造に貢献したい人
- 特別支援教育の充実、創造に貢献したい人
- 現代的な教育課題に対して、他者と協働的に広い視野に立った解決策を構想し実践したい人

### 2. 経済学部

経済学部は、経済社会の重要な問題を把握し、明晰な分析能力を備えて、問題解決の方向を探究する力を持ち、必要な情報にアクセスしてそれらを情報発信できる力をもった人材の育成を目指す。よって、次に示す人の入学を求める。

- 経済・社会・歴史・制度・法律に深い関心を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に取り組みたい人
- 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸問題の解決に挑戦したい人
- 必要な情報に自分からアクセスして自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身に付けたい人

### 3. 経営学部

経営学部では、経済活動を通じて社会における課題の解決に貢献する人材の育成を目指し、次のような人を求める。

- 消費者や企業等の経済活動に関心を持つとともに、社会において解決すべき課題を自ら発見する意欲を有している人
- 経営学、会計学、マーケティング、オペレーション・マネジメント、ファイナンスといった分野で学習した内容を社会的な課題の分析、および、解決策の導出に生かしたいと考えている人

- 創造的かつ独創的な視点に立ち、社会的課題の解決までの道筋を見出すとともに、その実行に向けて、周囲の人々と共に目標を達成する協調性を備えている人

#### 4. 理工学部

- 自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとするチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスを磨き、国際的視野を持って世の中への貢献を志す人

##### 【機械・材料・海洋系学科が求める学生像】

- 機械工学、材料工学、または海洋空間のシステムデザイン分野に興味を持ち、マイクロから宇宙までの様々なスケールの事象に対して知恵と技術とモノを用いることで、環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人
- 自由と責任を有する大人としての自立性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力を持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人

##### 機械工学教育プログラム

- 機械工学に興味を持ち、機械工学の専門知識を用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人

##### 材料工学教育プログラム

- 材料工学に強い関心を持ち、新材料やその応用技術を開発したいと希望する人
- 物理や化学に基づいた、材料の様々な性質が生み出される仕組みの解明に興味がある人
- 既存の材料や製造プロセスに環境負荷低減技術を積極的に導入したいという意欲にあふれる人

##### 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム

- 環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
- 海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶、航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資の流れを作り、世界を1つにすることを目指したい人

##### 【化学・生命系学科が求める学生像】

- 自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人
- 向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人

##### 化学教育プログラム

- 化学の基礎知識を十分備え、さまざまな自然科学の知識を活用して、現象の真理を原子や分子レベルから探究することのできる研究者、および最先端化学を駆使することで、地球規模で人類が抱える諸問題解決や新しい機能性材料、エネルギー化学の創造に貢献できる技術者を指す人

##### 化学応用教育プログラム

- 化学の基本知識を応用し、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる研究者・技術者を指す人

##### バイオ教育プログラム

- 生物学、化学、物理学を基礎とする現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食糧問題や生命・医療などのグローバルな課題の解決に応用できるバイオ関連の技術者・研究者を指す人

### 【数物・電子情報系学科が求める学生像】

- 数学、物理の基本原則を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- 数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人

#### 数理科学教育プログラム

- 現代の数学である数理科学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人
- 数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

#### 物理工学教育プログラム

- 宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探究することに関心のある人
- 物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

#### 電子情報システム教育プログラム

- 電気・電子・通信・情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- 電気・電子・通信・情報工学などの分野の研究者・科学者として、社会で役立つ実践力を身に付けたい人
- 高度情報化社会を支える新しい先端技術を開発することを目指す人

#### 情報工学教育プログラム

- 情報学・情報工学の基礎から応用までを身に付け、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する意欲を持った人
- 人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

## 5. 都市科学部

- 理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面やダイバーシティ（多様性）の視点、複眼的思考を身に付けたい人
- ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身に付けたい人
- 上記の視点と視野・知識・能力・技術を身に付けて、街づくり、都市文化・社会基盤構築、自然との調和で都市の未来に貢献したい人

### 【都市社会共生学科が入学者に求める学生像】

- 人文社会科学分野の知識や技能を活用し、われわれの未来にとって豊かで美しく、国際的・文化的に魅力のある都市社会の発展に寄与したい人
- 歴史・文化・地域・社会に関する深い理解にもとづいて、現代社会、都市社会の多様な課題を考究し、時代や状況に応じた制度づくりや新しい芸術・文化の構想によってこれからの社会に貢献したい人
- 地球的な視野を持ってダイバーシティ（多様性）がはらむ創造的な可能性、および格差や貧困などの問題を把握し、人間生活の社会の向上のための活動を国内外で行いたい人

### 【建築学科が入学者に求める学生像】

- 建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都



市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人

- 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- 自然と調和した住空間のデザインスキルを身に付け、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- 都市や建築の成り立ちや歴史的変遷を知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人
- 建築や都市に関する知見を生かして、地域社会や国際社会のファシリテーションやマネジメントに積極的に関わっていきいたい人

#### 【都市基盤学科が入学者に求める学生像】

- 自然環境との調和や共生など地球的観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- 地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人
- IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管理や運用に利活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- 世界の政治や社会、経済状況に広く関心を持ち、社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

#### 【環境リスク共生学科が入学者に求める学生像】

- 複雑で多様化した環境リスクに対し、ヒトから都市、自然生態系、地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を身に付けたい人
- 豊かさと表裏一体で生じるリスクとバランスをとる「リスク共生」社会の実現をめざし、自然環境と社会環境のリスクを科学的に捉える数理的思考力と、ヒト・社会と対話できる社会科学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を身に付けたい人
- 都市に恵みや災いをもたらす自然システムや都市や地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し、リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を身に付けたい人

## 2 入学者選抜の実施方式等

### 1. 一般選抜の実施方式

本学の一般選抜は「分離分割方式」（同一大学・学部を前期日程及び後期日程の二つのグループに分け実施する方式）により実施します。

#### 試験実施日

前期日程 令和6年(2024年)2月25日(日)

後期日程 令和6年(2024年)3月12日(火)

### 2. 一般選抜への出願

志願者は、国立大学・学部のうち、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。

従って、「前期日程－後期日程」（本学と他大学、または本学と本学）の併願は認められますが、「前期日程－前期日程」（本学と他大学）、「後期日程－後期日程」（本学と他大学）の併願は認められませんので注意してください。

なお、「前期日程」の試験に合格し令和6年(2024年)3月15日(金)までに入学手続きを行った者は、「後期日程」に出願済みであってもその合格者とはなりません。

### 3. 本学の学内併願

本学では、「前期日程」試験を実施する学部・学科（課程）と「後期日程」試験を実施する学部・学科との併願ができます。

なお、学内併願の場合であっても、出願書類は日程別にそれぞれ提出する必要があります。

また、学部、学科（課程）等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない者の併願は認められませんので注意してください。

### 4. 学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した場合の取り扱い

本学又は他の国公立大学の学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格した者は、当該学校推薦型選抜又は総合型選抜を実施する大学の定める入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除き、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

### 5. 「入試過去問題活用宣言」への参加

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のウェブサイトにて公表しています。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

### 3 募集人員

学部	学科・課程・コース・教育プログラム(EP)等		入学定員 (注1)	一般選抜募集人員(人)			
				前期日程	後期日程	計	
教育学部	学校教員養成課程	言語・文化・社会系教育コース	182	32(注2)	(注3)	32	
		自然・生活系教育コース		29(注2)		29	
		芸術・身体・発達支援系教育コース		音楽専門領域		7(注2)	7
				美術専門領域		5(注2)	5
				保健体育専門領域		7(注2)	7
				心理学専門領域		8(注2)	8
	特別支援教育専門領域	18	12(注2)	12			
小計		200	100		100		
経済学部	経済学科	一般プログラム	258	125	75	200	
		DSEP (Data Science EP)		10(注4)	10(注4)	20	
		LBEEP (Lawcal Business Economics EP)		10(注4)	5(注4)	15	
	小計		258	145	90	235	
経営学部	経営学科	一般プログラム	297	148	78	226	
		DSEP (Data Science EP)		7(注4)	3(注4)	10	
	小計		297	155	81	236	
理工学部	機械・材料・海洋系学科	機械工学 EP	185	56	50	106	
		材料工学 EP		18	16	34	
		海洋空間のシステムデザイン EP		17	8	25	
	化学・生命系学科	化学 EP・化学応用 EP	187	71	56	127	
		バイオ EP		15	10	25	
	数物・電子情報系学科	数理科学 EP	287	20	15	35	
		物理工学 EP		60	30	90	
電子情報システム EP		63		50	113		
情報工学 EP		30		17	47		
小計		659	350	252	602		
都市科学部	都市社会共生学科		74	32	12	44	
	建築学科		70	40	19	59	
	都市基盤学科		48	18	12	30	
	環境リスク共生学科		56	30	10	40	
	小計		248	120	53	173	
合計			1,662	870	476	1,346	

注1 入学定員には、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、外国学校出身者選抜、社会人選抜、YGEP-N1、YGEP-N2 及び YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM の募集人員が含まれています。

注2 教育学部の各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

注3 教育学部学校教員養成課程は、後期日程の募集を行いません。

注4 経済学部 DSEP・LBEEP 及び経営学部 DSEP は、選抜の結果、合格者数が募集人員に満たない場合があります。詳細は31 ページ、43 ページをご確認ください。

(備考)

- 学校推薦型選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、次のとおり補充します。
  - 教育学部及び理工学部については、前期日程試験の合格者で補充します。
  - 経営学部については、後期日程試験の合格者で補充します。
- 経営学部の社会人選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、前期日程試験の合格者で補充します。
- 総合型選抜、帰国生徒選抜及び YOKOHAMA SOCRATES PROGRAM の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、前期日程試験の合格者で補充します。
- YGEP-N1 及び YGEP-N2 の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、後期日程試験の合格者で補充します。

## 4 出願資格

一般選抜に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和6年度(2024年度)大学入学共通テストにおいて、各学部・学科等が指定する教科・科目のすべてを受験した者です。

(本学では大学入学共通テスト成績の過年度利用は行いません。必ず令和6年度(2024年度)大学入学共通テストを受験してください。)

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年(2024年)3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年(2024年)3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年(2024年)3月31日までにこれらに該当する見込みの者(※)  
※外国にある学校(インターナショナルスクール等)の課程を修了した者は、出願資格が認められない場合がありますので、出願資格の有無を確認したい場合には、出願前できるだけ早い時期に学務・国際戦略部入試課(連絡先は10ページを参照)に連絡をしてください。
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの及び令和6年(2024年)3月31日までに18歳に達するもの

### 【参考】

学校教育法施行規則第150条の規定内容

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年(2024年)3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年(2024年)3月までに修了見込みの者
3. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和6年(2024年)3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和6年(2024年)3月31日までに合格見込みの者で、令和6年(2024年)3月31日までに18歳に達するもの
- 5の2. 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和四年文部科学省令第十八号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
6. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
7. 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの及び令和6年(2024年)3月31日までに18歳に達するもの

### 【個別の入学資格審査により出願する場合の手続】

前記出願資格(4)により出願する場合は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けてください。(前記出願資格(1)～(3)により出願する場合は、この手続を行う必要はありません。)

#### (1) 入学資格認定申請書の入手方法

次のいずれかの方法により、入学資格認定申請書(本学所定様式)を入手してください。

- ① 本学所定様式を受け取るための返信用封筒(長形3号。申請者氏名・住所を明記し、94円分の切手を貼付すること。)を、本学学務・国際戦略部入試課に送付する。
- ② 本学ウェブサイト(<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/qualification.html>)から、本学所定様式をダウンロードおよび印刷する。

#### (2) 審査要件(①～③いずれにも該当することが必要です。)

- ① 専修学校、各種学校その他の教育施設(学校教育法第1条に掲げるものを除く。)において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位(2,590単位時間)相当以上(平成11年度以前の入学者にあっては80単位(2,800単位時間)相当以上。単位(単位時間)については、高等学校学習指導要領による。)修得している者又は令和6年(2024年)3月修得見込みの者。
- ② 前号の単位(単位時間)には、おおむね国語(相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。)、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位(単位時間)を含んでいること。
- ③ 18歳に達したものと及び令和6年(2024年)3月31日までに18歳に達するもの。

#### (3) 申請期間

(第1回申請期間) 受付は終了しています。

郵送受付：令和5年(2023年)8月 1日(火)～8月21日(月)【必着】書留速達郵便に限る。 窓口受付：令和5年(2023年)8月10日(木)・8月21日(月) 8:30～12:45及び13:45～17:00
---

(第2回申請期間)

郵送受付：令和6年(2024年)1月12日(金)～1月16日(火)【必着】書留速達郵便に限る。 窓口受付：令和6年(2024年)1月15日(月)～1月16日(火) 8:30～12:45及び13:45～17:00
---

(第3回申請期間)

窓口受付のみ：令和6年(2024年)1月29日(月)17時までに本学学務・国際戦略部入試課に申し出ること。 ※対象は大学入学共通テスト追試験受験者のみ。 ※大学入学共通テスト追試験許可書を提示すること。
---

#### (4) 提出書類

- ① 入学資格認定申請書(本学所定様式)
- ② 調査書(各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。)又は、最終出身学校等の卒業(見込)証明書及び成績証明書
- ③ 出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類
- ④ 入学資格審査結果の通知を受け取るための返信用封筒(長形3号。申請者氏名・住所を明記し、第1回は674円分、第2回・3回は704円分の切手を貼付すること。)

#### (5) 本学所定様式の請求先および提出書類の送付先

横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

(TEL. 045-339-3121)

## 5 試験教科・科目

### (1) 教育学部

【学校教員養成課程 言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）】

#### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目		
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (81名) (注1)	国語 地理歴史 公民 理科  数学  外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 } から1又は2 「倫理、政治・経済」 (a) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	地理歴史・公民から 2科目の場合、 理科は(a)又は(b)  地理歴史・公民から 1科目の場合、 理科は(c)又は(d)
			地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]

#### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		
	教科	科目名等 (注3)	2段階選抜
前期日程 (81名) (注1)	その他	面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と小論文（教育課題論文）試験	実施しない

- (注1) 1. 各コース・専門領域の募集人員は、「言語・文化・社会系教育コース」32名、「自然・生活系教育コース」29名、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学専門領域）」8名、「芸術・身体・発達支援系教育コース（特別支援教育専門領域）」12名です。  
 2. 「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者は、そのコース内のいずれかの専門領域（30ページ参照）に進むことになります。「芸術・身体・発達支援系教育コース」の各専門領域に入学した者は、それぞれの専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。  
 3. 各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

- (注2) 1. 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めず。  
 2. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。  
 3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。  
 4. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。  
 5. 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

- (注3) 1. 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。  
 2. 「小論文（教育課題論文）試験」の内容は、以下のとおりです。  
 教育に関する日本語の文章をはじめ絵・図・表などの読み解き、あるいはそれらに基づいた文章の作成などにより、読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員になる上での基礎的な資質を評価します。（なお、設問によっては、一部に英文を含むこともあります。）  
 3. 面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

#### ③配点

試験の区分	前期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	—	900
個別学力検査等	—	—	—	—	—	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	200	200	1300

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、( )内の配点で計算します。  
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
 200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

## 【学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）】

### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注2)
前期日程 (19名) (注1)	国語 地理歴史 公民 理科  数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 } から1又は2 「倫理、政治・経済」 } (a) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 } (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 } (c) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 } 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 } (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 } 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1
		地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)又は(d)
		地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]

### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注3)	
前期日程 (19名) (注1)	その他	面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」、「美術の実技」、「体育の実技」	実施しない

(注1) 1. 各専門領域の募集人員は、「音楽専門領域」7名、「美術専門領域」5名、「保健体育専門領域」7名です。入学後は、選択した専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。

2. 各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

(注2) 1. 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めず。  
 2. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。  
 3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。  
 4. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

(注3) 1. 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）  
 2. 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。  
 3. 実技検査では、学校教員に必要な実技能力を備えているか、評価します。詳細については、次ページ（④実技検査）をご覧ください。  
 4. 面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

### ③配点

試験の区分	前期日程							
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接	実技	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	—	900
個別学力検査等	—	—	—	—	—	200	200	400
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	200	200	1300

(注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の得点に採用された科目が1科目の場合、( )内の配点で計算します。  
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
 200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

#### ④実技検査

音 楽	<p>次の1、2の試験を課す。2については下記「実技試験の詳細」を参照のうえ、選択肢①②③の中から1つを選び、受験すること。</p> <p>1. 聴音 2声の書き取り（大譜表、8小節程度） 2. 実技試験 ① ピアノA+声楽B ② 声楽A+ピアノB ③ ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B</p> <p>実技試験の詳細</p> <p>◆ピアノA W.A. モーツァルトのピアノ・ソナタの中から任意の1曲を選択し（K. 282を除く）、第1楽章を暗譜で演奏する（繰り返しは省略）。 注）ピアノ・ソナタ集（W.A. モーツァルト）には、「幻想曲」ハ短調K. 475が収録されているが、K. 282と同様に選択肢から除外する。</p> <p>◆ピアノB J.S. バッハ：「インヴェンション2声」の中から任意の1曲を演奏する（視奏も可）。</p> <p>◆声楽A 次の曲の中から任意の1曲を選び、原語の歌詞、暗譜で歌う。調は（ ）内に指定したものから選ぶこと。 作者不詳（伝A. Caldara）：Sebben, crudele（ホ短調、ニ短調、ハ短調） 作者不詳（伝G. B. Pergolesi）：Nina（ト短調、ホ短調、ニ短調） 注）作曲者名についてはイタリア歌曲集I新版（全音楽譜出版社）に基づく。</p> <p>◆声楽B コンコーネ 50番 Op. 9 第32・33・34番の中から、当日指定する1曲を歌う。 注1）移動ド、固定ド、もしくは母音による視唱とする。 注2）高声・中声・低声用（調性は全音楽譜出版社の楽譜を参照）のいずれかを各自が選択すること。</p> <p>◆ピアノ以外の楽器（電子楽器を除く） 5分程度の任意の1曲を演奏する。（暗譜または視奏、伴奏は無し、楽器は各自持参すること）。 注）入学後の器楽指導はピアノが中心となる。</p> <p>※筆記用具、昼食、上履きを持参すること。</p>
美 術	<p>次の1、2の試験を課す。</p> <p>1. 鉛筆デッサン（B3画用紙に人物デッサン。2時間） * 鉛筆デッサンに必要な用具を持参すること。</p> <p>2. 総合的な造形（抽象形体と具象形体による立体造形。2時間） テーマ：紙粘土による幾何形体と野菜や果実を配した立体造形（野菜や果実のみ彩色を施す） * 着色用具一式（アクリル絵の具、パレット、筆、筆洗、雑巾）を持参すること。</p> <p>※ 昼食を持参すること。</p>
体 育	<p>次の実技検査を課す。</p> <p>次の5種目から4種目を選択して実技を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ① 器械運動 ② 陸上運動 ③ 表現運動 ④ ボール運動 ⑤ 柔道</p> <p>注1）運動着及び運動靴（体育館用並びに屋外用）を用意すること。 注2）運動着の前後にゼッケン（20cm×20cmの白布に受験番号を黒書したもの）を縫い付けること。安全ピンの使用は禁止する。</p> <p>※ 昼食を持参すること。</p>



## (2) 経済学部

### 【経済学科】

#### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (145名) 内訳： 一般 125名 ディーゼップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 10名	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 から 1 又は 2 「倫理、政治・経済」 (a) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から 2 (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から 1 (c) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から 2 「数学Ⅰ・数学 A」と 「数学Ⅱ・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から 1 地歴・公民から 1 科目の場合 [5教科7科目] 地歴・公民から 2 科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目] <p style="text-align: right;">(注2)</p> 地歴・公民から 2 科目の 場合、理科は(a)又は(b) 地歴・公民から 1 科目の 場合、理科は(c)
後期日程 (90名) 内訳： 一般 75名 ディーゼップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 5名	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 から 1 「倫理、政治・経済」 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 基礎を付した科目から 2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 基礎を付さない科目から 1 「数学Ⅰ・数学 A」と 「数学Ⅱ・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から 1 [5教科6科目] 又は [5教科7科目] <p style="text-align: right;">(注3)</p>

#### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注4)	
前期日程 (145名) 内訳： 一般 125名 ディーゼップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 10名	数 学 外 国 語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A、数学 B コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	約 7 倍
後期日程 (90名) 内訳： 一般 75名 ディーゼップ DSEP 10名 エルビーブ LBEEP 5名	数 学 外 国 語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A、数学 B コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ 数学又は外国語を出願時に選択 (注5) (注6)	約 15 倍

- (注1)** 1. 「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合には、得点の高い科目を合否判定に用います。  
 2. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。  
 3. 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）
- (注2)** 1. 「地理歴史」・「公民」から 2 科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第 1 解答科目の得点と「理科」の第 1 解答科目の得点を採用し、残りの 1 科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第 2 解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
- (注3)** 1. 「理科」について基礎を付していない科目を 2 科目受験した場合には第 1 解答科目の得点を合否判定に用います。  
 2. 「地理歴史」及び「公民」において 2 科目受験した者については、第 1 解答科目の得点を合否判定に用います。
- (注4)** 個別学力検査で課す数学の出題範囲  
 1. 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学 A」については全項目とします。  
 2. 「数学 B」については「数列」及び「ベクトル」とします。
- (注5)** 1. 後期日程については「数学」又は「外国語」を出願時に選択して受験してください。
- (注6)** 1. 後期日程で DSEP を志望する者については、「数学」を出願時に選択して受験してください。

#### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	900	200	100	200	100	200	800
個別学力検査等	—	—	400	—	400	800	—	—	*800	—	*800	800

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の採用された科目が1科目の場合には、  
( )内の配点で計算します。
2. 配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。出願時に個別学力検査等の配点に利用する教科を選択してください。
3. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。
4. 大学入学共通テストの合計点と個別学力検査の合計点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、個別学力検査受験者全体のものとします。

### (3) 経営学部

#### 【経営学科】

#### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (155名) 内訳： 一般 148名 DSEP 7名 <small>ディーセップ</small>	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」 } から1 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」基礎を付した科目から2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」基礎を付さない科目から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕
後期日程 (81名) 内訳： 一般 78名 DSEP 3名 <small>ディーセップ</small>	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」 } から1 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」基礎を付した科目から2 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」基礎を付さない科目から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕

#### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (155名) 内訳： 一般 148名 DSEP 7名 <small>ディーセップ</small>	数 学 外 国 語	数学 I、数学 II、数学 A、数学 B コミュニケーション英語 I、コミュニケーション英語 II、 コミュニケーション英語 III、英語表現 I、英語表現 II  数学又は外国語を出願時に選択 (注3) (注4)	約6倍
後期日程 (81名) 内訳： 一般 78名 DSEP 3名 <small>ディーセップ</small>	数 学 外 国 語	数学 I、数学 II、数学 A、数学 B コミュニケーション英語 I、コミュニケーション英語 II、 コミュニケーション英語 III、英語表現 I、英語表現 II	約10倍

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。  
2. 「地理歴史」のA科目を第1解答科目として選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてA科目を履修した者(高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で「地理歴史」のA科目を合格している者を含みます。)に限ります。  
3. 「理科」について基礎を付した科目及び基礎を付していない科目の両方の科目を受験した場合には、得点の高い科目を合否判定に用います。  
4. 「理科」について基礎を付していない科目を2科目受験した場合には、第1解答科目の得点を合否判定に用います。  
5. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。  
6. 「英語」についてはリスニングを含みます。(「リスニング」の免除を許可された者を除く。)

- (注2) 個別学力検査で課す数学の出題範囲  
1. 「数学 I」、「数学 II」及び「数学 A」については全項目とします。  
2. 「数学 B」については「数列」及び「ベクトル」とします。

- (注3) 1. 前期日程については「数学」又は「外国語」を出願時に選択して受験してください。

- (注4) 1. 前期日程で DSEP を志望する者については、「数学」を出願時に選択して受験してください。

#### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	100	200	800	100	50	100	50	100	400
個別学力検査等	—	—	*400	—	*400	400	—	—	200	—	200	400
合計	—	—	—	—	—	—	100	50	300	50	300	800

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。  
2. 配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。出願時に個別学力検査等の配点に利用する教科を選択してください。  
3. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディングとリスニングの配点比率を4対1として、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
後期日程：100点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)×0.5  
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では、100点満点に換算します。  
4. 前期日程では大学入学共通テストの合計点と個別学力検査等の合計点をそれぞれ偏差値に換算し2対1の比率で合計します。大学入学共通テストの偏差値は、個別学力検査受験者全体のものとします。  
5. 後期日程では大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を1対1の比率で合計します。

## (4) 理工学部

### 【機械・材料・海洋系学科】

#### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (91名)  機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	国語 地理歴史 公民 数学  理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」 「英語」
[5教科7科目]		
後期日程 (74名)  機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	国語 地理歴史 公民 数学  理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」 「英語」
[5教科7科目]		

#### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (91名)  機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	数学  理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	約6倍
後期日程 (74名)  機械工学E P 材料工学E P 海洋空間の システムデザインE P	数学  理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学	約8倍

(注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。  
 2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別学力検査の出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」及び「数学A」は全範囲から出題します。
- 「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

#### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。  
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
 前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
 後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5  
 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

## 【化学・生命系学科】

### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (86名) 化学EP及び 化学応用EP バイオEP	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」
後期日程 (66名) 化学EP及び 化学応用EP バイオEP	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」

[5教科7科目]

[5教科7科目]

### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (71名) 化学EP及び 化学応用EP	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	約6倍
前期日程 (15名) バイオEP	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理 } から2 (注3) 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	約6倍
後期日程 (66名) 化学EP及び 化学応用EP バイオEP	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学	約8倍

(注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。  
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別学力検査の出題範囲

1. 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」及び「数学A」は全範囲から出題します。
2. 「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
3. 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
4. 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。
5. 「生物基礎・生物」は生物基礎・生物の全範囲から出題します。

(注3) バイオEPの理科は、物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の3科目の中から2科目を受験してください。

### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。  
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5  
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

## 【数物・電子情報系学科】

### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (173名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」 「英語」
後期日程 (112名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」 「英語」

### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (173名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	約6倍
後期日程 (112名) 数理学E P 物理工学E P 電子情報システムE P 情報工学E P	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学	約8倍

- (注1) 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。  
2. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

(注2) 個別学力検査の出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」及び「数学A」は全範囲から出題します。
- 「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストの配点は、上記の配点に換算します。  
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4) ×1.5  
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

## (5) 都市科学部

### 【都市社会共生学科】

#### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (32名)	国語 地理歴史 公民 理科  数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2 「倫理、政治・経済」 (a) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]
後期日程 (12名)	国語 地理歴史 公民 理科  数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2 「倫理、政治・経済」 (a) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目]

#### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等	
前期日程 (32名)	その他	小論文 (注2)	実施しない
後期日程 (12名)	その他	面接試験 (注3)	約10倍

- (注1) 1. 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)の選択を認めます。  
 2. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。  
 3. 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。  
 4. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。  
 5. 「英語」についてはリスニングを含みます。(「リスニング」の免除を許可された者を除く。)

(注2) 「小論文」の内容は、以下のとおりです。  
 都市社会共生学科：これからの都市を様々に構想することを背景におきながら、共生社会と多様性のあり方、文化や芸術の可能性、グローバルとローカルの接合などに関連して提示された人文社会領域の素材について、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。

(注3) 自己推薦書及び他の提出書類を参考にし、複数の面接員による個人面接試験を行い、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力などを総合的に評価します。

#### ③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接	合計
大学入学共通テスト	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	900	200	200 (100)	200	100 (200)	200	—	900
個別学力検査等	—	—	—	—	—	500	500	—	—	—	—	—	200	200
合計	200	200 (100)	200	100 (200)	200	500	1400	200	200 (100)	200	100 (200)	200	200	1100

- (注) 1. 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」及び「理科」において、「地理歴史・公民」の採用された科目が1科目の場合には、( )内の配点で計算します。  
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
 200点満点 リーディング100点×1.5+リスニング100点×0.5  
 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

## 【建築学科】

### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (40名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  [5教科7科目]
後期日程 (19名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  [5教科7科目]

### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (40名)	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	実施しない
後期日程 (19名)	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理 化学基礎・化学	実施しない

- 【注1】**
- 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
  - 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
  - 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

**【注2】 個別学力検査の出題範囲**

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」及び「数学A」は全範囲から出題します。
- 「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。  
後期日程 英語以外の外国語：300点満点 200点×1.5
2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)×1.5  
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。



## 【都市基盤学科】

### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等 (注1)
前期日程 (18名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  [5教科7科目]
後期日程 (12名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  [5教科7科目]

### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等 (注2)	
前期日程 (18名)	数学 理科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	実施しない
後期日程 (12名)	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学	実施しない

- 【注1】**
- 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
  - 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
  - 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）

**【注2】** 個別学力検査の出題範囲

- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」及び「数学A」は全範囲から出題します。
- 「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

### ③配点

試験の区分	前期日程						後期日程					
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	900	100	50	100	100	300	650
個別学力検査等	—	—	450	450	300	1200	—	—	450	450	—	900
合計	200	100	650	650	500	2100	100	50	550	550	300	1550

- (注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。  
後期日程 英語以外の外国語：300点満点 200点×1.5
- 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)×1.5  
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

## 【環境リスク共生学科】

### ①大学入学共通テストの利用教科・科目

区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目名等(注1)
前期日程 (30名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  [5教科7科目]
後期日程 (10名)	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1  [5教科7科目]

### ②個別学力検査等の実施教科・科目

区分 (募集人員)	個別学力検査等の実施教科・科目		2段階選抜
	教科	科目名等(注2)	
前期日程 (30名)	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学 } から2(注3) コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	実施しない
後期日程 (10名)	数 学 そ の 他	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B 小論文(注4)	実施しない

- (注1)** 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。  
 2. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。  
 3. 「英語」についてはリスニングを含みます。「リスニング」の免除を許可された者を除く。

- (注2)** 個別学力検査の出題範囲  
 1. 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」及び「数学A」は全範囲から出題します。  
 2. 「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。  
 3. 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。  
 4. 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。  
 5. 「生物基礎・生物」は生物基礎・生物の全範囲から出題します。  
 6. 「地学基礎・地学」は地学基礎・地学の全範囲から出題します。

- (注3)** 環境リスク共生学科の理科は「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の4科目の中から2科目を受験してください。

- (注4)** 「小論文」の内容は、以下のとおりです。  
 環境リスク共生学科：自然環境や生態環境、社会環境の様々なリスクに関連して提示された素材に関し、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。

### ③配点

試験の区分	前期日程							後期日程						
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	—	900	100	250	100	350	300	—	1100
個別学力検査等	—	—	450	450	300	—	1200	—	—	450	—	—	200	650
合計	200	100	650	650	500	—	2100	100	250	550	350	300	200	1750

- (注) 1. 大学入学共通テストは、上記の配点に換算します。  
 後期日程 英語以外の外国語：300点満点 200点×1.5  
 2. 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。  
 前期日程：200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4  
 後期日程：300点満点 (リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4)×1.5  
 なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を前期日程では200点満点、後期日程では300点満点に換算します。

## 6 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の（１）および（２）の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にして事前相談申請書を作成し、学務・国際戦略部入試課へ提出してください。

### （１）受験上の配慮

全ての学部では出願時に自己推薦書を手書きで記入して提出する必要があります。受験上の配慮を必要とする者は、下記の要領で申請書を提出してください。

- ① 原則として令和6年(2024年)1月4日(木)までに事前相談申請書を提出してください。申請書を提出しても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
- ② 本学で相談内容を審査したうえで、下記の日程を目安に、配慮事項の審査結果を郵送で通知します。

本学への事前相談申請書の到着時期	本学からの審査結果の発送時期
令和5年(2023年)11月30日(木)まで	令和5年(2023年)12月下旬
令和6年(2024年)1月4日(木)まで	令和6年(2024年)1月下旬

- ③ 上記①の期限後でも相談を受け付けます。不慮の事故などにより配慮が必要となった場合は、速やかに申請書を提出してください。
- ④ 相談の内容や時期（特に上記③）によっては、希望通りに配慮ができない場合や、審査結果の発送が出願期間の最終日までに間に合わない場合がありますが、所定の提出物を含む出願書類は全て、出願期間内に提出してください。いかなる理由があっても、出願期間の延長は認めません。
- ⑤ 申請書の添付書類などに関して不明な点があれば、学務・国際戦略部入試課へ問い合わせてください。

### （２）修学上の配慮

修学上の配慮については、随時相談を受け付けていますが、申請時期が遅くなると実際の支援開始も遅くなることが想定されますので、入学を志願する学部にかかわらず、配慮を必要とする者はなるべく下記の提出期限までに申請書を提出してください。

- ① 原則として令和6年(2024年)2月2日(金)までに事前相談申請書を提出してください。申請書を提出しても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
- ② 本学で相談内容を審査したうえで、下記の日程を目安に、配慮事項の審査結果を郵送で通知します。

本学への事前相談申請書の到着時期	本学からの審査結果の発送時期
令和5年(2023年)11月30日(木)まで	令和5年(2023年)12月下旬
令和6年(2024年)1月4日(木)まで	令和6年(2024年)1月下旬
令和6年(2024年)2月2日(金)まで	令和6年(2024年)2月下旬

- ③ 上記①の期限後でも相談を受け付けます。不慮の事故などにより配慮が必要となった場合は、速やかに申請書を提出してください。
- ④ 相談の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合があります。可能な限り早い時期に申請書を提出してください。また、申請書の添付書類などに関して不明な点があれば、学務・国際戦略部入試課へ問い合わせてください。

令和 年 月 日

横浜国立大学長 殿

フリガナ  
氏 名  
生年月日  
住 所  
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志願する学部・学科・課程・コース・教育プログラム等
2. 出願を予定している入試・日程 (前期日程・後期日程)
3. 障がい等の種類・程度
4. 受験上の配慮を希望する事項・内容
5. 修学上の配慮を希望する事項・内容
6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容 ※定期試験等についても記入
7. その他

(添付書類) 医師の診断書 (原本または写し)

大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書 (写し) ※該当者のみ  
その他参考資料

## 7 前期日程

横浜国立大学一般選抜では、ウェブ出願を導入しています。

ウェブ出願システムへは次の URL (<https://e-apply.jp/ds/ynu/>) からアクセスできます。

### I 出願手続等（前期日程）

#### 1. 出願期間

##### (1) ウェブ出願登録期間

令和6年(2024年)1月15日(月)10時～2月2日(金)17時

※マイページ登録の開始は令和6年(2024年)1月15日(月)10時からです。

※ウェブ出願登録の完了時にはメールの配信はありません。登録完了の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込済(支払済)」又は「出願申込済(支払不要)」と表示されていれば、ウェブ出願登録を完了できています。

※全ての書類が郵送で本学に到着した時点をもって出願手続が完了となります。ウェブ出願システムで出願申請を行っただけでは出願手続は完了しませんので、必ず郵送による出願まで完了してください。

##### (2) 郵送出願期間

令和6年(2024年)1月22日(月)～2月2日(金)

※郵送出願期間を過ぎて令和6年(2024年)2月5日(月)10時までには到着した出願書類のうち、令和6年(2024年)2月1日(木)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。(ポスト投函不可)

※郵送出願の受理時にはメールの配信はありません。出願受理の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込確定」と表示されていれば、郵送出願を受理しています。

#### 2. ウェブ出願登録

50ページから53ページのウェブ出願の流れを参照して登録を行ってください。

ウェブ出願を行うにあたり、志願者本人の写真データ(ファイル形式はjpeg・png・bitmap・gifに対応、10メガバイト以内、上半身・無帽、マスクなし)を事前に用意してください。

なお、ウェブ出願登録を行っただけでは本学への出願は完了になりません。27ページの「4. 郵送出願方法」以降の案内に従って、必ず郵送による出願まで完了してください。

#### ※ウェブ出願登録時に入力ミスが生じた場合

(1) 検定料を納付する前 : 登録を最初からやり直してください

(2) 検定料を納付した後で、出願書類を郵送する前

①住所や電話番号の変更 : 本学学務・国際戦略部入試課(最終ページにアドレスを記載しています)へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更 : 出願書類を郵送せず、登録を最初からやり直してください。郵送しなかった出願の検定料は、申請に基づいて返還します。申請の方法は、29ページの「7. 入学検定料の返還」を確認してください。「(1)入学検定料の返還請求ができるもの①入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合」に該当します。

(3) 検定料を納付した後で、出願書類を郵送した後

①住所や電話番号の変更 : 本学学務・国際戦略部入試課(最終ページにアドレスを記載しています)へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更 : 変更は受け付けられません

ウェブ出願登録後に印刷した志願票に、記載内容の修正や追記はしないでください。修正や追記をした内容は出願情報に反映されません。

### 3. 入学検定料

#### (1) 払込金額

**17,000円**

#### (2) 払込期間

ウェブ出願登録完了後に払込が可能になります。払込可能な期間はウェブ出願登録完了日を含め4日間です。令和6年(2024年)1月30日(火)以降にウェブ出願登録を完了した場合には、2月2日(金)17時が払込の締め切りになります。払込後にウェブ出願サイトからダウンロード可能になる様式があるため、余裕を持ってウェブ出願登録および払込を行ってください。

#### (3) 払込方法

52ページの「入学検定料の支払い」を参照してください。

#### (4) 払込済の入学検定料

29ページの「7. 入学検定料の返還」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

※本学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。

申請を行う場合には、ウェブ出願登録冒頭の入試区分選択時に、該当の項目を選択してください。手順に沿って「入学検定料免除特別措置申請書」をダウンロードして印刷し、郵送出願時に免除事由に関する証明書等と共に提出してください。

### 4. 郵送出願方法

(1) 「5. 出願書類等」を取り揃え、「8. 出願にあたっての注意事項」等をよく読んで、検定料払込後にウェブ出願サイトから様式「出願書類提出用宛名シート」をダウンロードして印刷し、市販の角形2号封筒に貼り付け、書留速達で郵送してください。(大学窓口に持参されても受付しません。)

(2) 出願にあたっては、61～63ページの「受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表」で必ず確認してください。

(3) 本学の前期日程と後期日程両方の選抜に併願する場合は、日程ごとに必要書類を取り揃え、それぞれ所定の日程の様式「出願書類提出用宛名シート」を使用して別々に郵送してください。

### 5. 出願書類等

64ページの「横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト」で確認しながら用意してください。①～③は全員が提出し、④・⑤は該当者のみ提出してください。

提出書類等	摘 要
①入学志願票	(1) 検定料払込後にウェブ出願サイトからダウンロードして、A4サイズでカラーで印刷してください。
令和6共通テスト成績請求票	(2) 印字された内容を確認してください。 (3) 大学入試センターから交付された「令和6共通テスト成績請求票」(原本のみ。コピー不可。)を、所定の欄に貼り付けてください。 ※ 前期日程・・・「 <u>前</u> 国公立前期日程」

<p>②自己推薦書</p> <p><u>本要項の66～70ページの様式又はウェブ出願登録後にダウンロードできる様式のいずれか（記載内容は同一）を印刷して使用</u></p>	<p>(1) 志望学部・学科等のアドミッションポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことを、本要項66～70ページの様式をA4サイズ片面で印刷して、<u>300字以上400字以内で、教育学部志願者のみ700字以上800字以内で記入してください。</u>また、教育学部志願者は、児童・生徒とふれあう継続的な体験活動や教職に関連する学習活動等の経験がある場合には、自己推薦書（教育学部用）補足資料にその内容を記入し、それを示す資料をA4判の用紙にコピーし、資料番号を書き込んだ上で添付してください。</p> <p>(2) 学びに対する姿勢と学習意欲を確認します。</p> <p>(3) 志願者本人が手書きで記入してください。（自筆が困難である者のうち、受験上の配慮（24ページ）を認められた者は除く。）</p> <p>(4) 各学部・学科等のアドミッションポリシー（入学者受入方針）は、本要項2～6ページまたは横浜国立大学ウェブサイト（トップページ＞教育・学生生活＞学士課程教育の方針「YNU initiative」）を参照してください。</p> <p>(5) 学部ごとの注意点は次の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="459 779 1407 1285"> <thead> <tr> <th>志望学部</th> <th>使用する様式</th> <th>記入上の注意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部</td> <td>様式1</td> <td>・黒のボールペンで記入してください。</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可） ・第2志望の学科・EPがある場合、第2志望を含めて記入してもかまいません。</td> </tr> <tr> <td>都市科学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 本学の前期日程と後期日程とも<u>同一の学部・学科</u>に併願する場合は、自己推薦書を記入した後にコピーして、前期日程では「自己推薦書の原本（直接手書きしたもの）」を、後期日程では「自己推薦書のコピー（余白に「コピー」と記入）」を提出してください。</p> <p>(7) 本学の前期日程と後期日程で<u>異なる学部・学科</u>に併願する場合は、本要項66～70ページの様式又はウェブ出願登録後にダウンロードできる様式のいずれか（記載内容は同一）を印刷して、前期日程と後期日程それぞれ、「自己推薦書の原本（直接手書きしたもの）」を提出してください。</p>	志望学部	使用する様式	記入上の注意	教育学部	様式1	・黒のボールペンで記入してください。	経済学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）	経営学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）	理工学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可） ・第2志望の学科・EPがある場合、第2志望を含めて記入してもかまいません。	都市科学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）
志望学部	使用する様式	記入上の注意																	
教育学部	様式1	・黒のボールペンで記入してください。																	
経済学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）																	
経営学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）																	
理工学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可） ・第2志望の学科・EPがある場合、第2志望を含めて記入してもかまいません。																	
都市科学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。（黒のボールペンも可）																	
<p>③調査書等</p>	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校の卒業者(卒業見込者)は、<b>卒業後（卒業見込者は令和5年(2023年)10月以降）</b>に出身学校長が作成し、<u>厳封した調査書</u>を提出してください。調査書はA3判、A4判のいずれでも可とし、枚数は問いません。学校長は調査書の作成にあたり学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」欄にⒶと標示し、その理由を備考欄に記入してください。</p> <p>(注) 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、「卒業証明書」及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過により「単位修得証明書」が発行できない場合は、「学校長等が作成した発行できない旨の文書」を提出してください。</p>																		

	<p>※指導要録の保存期間については、成績証明書（概ね5年）、単位修得証明書（概ね20年）となっています。詳細は出身学校に確認してください。</p> <p>(2) 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（修了見込者）は、前記(1)の調査書に準じて作成したものを提出してください。</p> <p>(3) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書を提出してください。なお、試験免除科目がある場合は、免除要件に係る証明書類（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定の合格証明書等）を併せて提出してください。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の者は、修了(見込)証明書〔資格(取得見込)証明書〕及び成績証明書を提出してください。</p>
④入学資格認定証明書	4 出願資格 (4) (9ページ参照)により出願する者は、本学学長が証明した「入学資格認定証明書」を提出してください。
⑤入学検定料免除特別措置申請書	ウェブ出願登録後に、ウェブ出願サイトからダウンロードしてA4サイズで印刷してください。 免除事由に関する証明書等を添付してください。

## 6. 受験票

- (1) 「受験票」は、ウェブ出願登録時の情報を基に生成されます。
- (2) 「受験票」について、令和6年(2024年)2月13日(火)にウェブ出願登録時に登録したアドレス宛にメールで受験票発行開始の通知をします。ウェブ出願サイトのマイページからダウンロードしてA4サイズでカラーで印刷してください。ダウンロードや印刷ができない場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。
- (3) ダウンロードして印刷した「受験票」の記載事項を確認し、氏名・写真の誤りがあった場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。  
ただし、志望学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科の変更は認めません。  
なお、手書きによる修正は無効です。

## 7. 入学検定料の返還

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

- (1) 入学検定料の返還請求ができるもの
- ① 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
  - ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
  - ③ 出願書類の不備等により出願が受理されなかった場合
  - ④ 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による無資格者であることが判明した場合
  - ⑤ 第1段階選抜で不合格になった場合
- (2) 返還する入学検定料の金額
- 志願者の申し出により、上記①、②、③は17,000円を、④、⑤は13,000円を返還します。
- (注) 日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料は志願者負担となります。



### (3) 返還請求の方法

上記(1)の①、②に該当する場合は、次の※1 a～dの4項目を明記した入学検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「払込完了画面のコピー」または「領収書等」を添付して、次の※2 送付先へ速やかに郵送してください。

また、③の場合は出願書類返却時に、④、⑤の場合は該当事項の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上必ず「払込完了画面のコピー」または「領収書等」を添付して郵送してください。

※1 入学検定料返還請求願（様式は問わない）に記載する項目

a 返還請求の理由、b 氏名（ふりがな）、c 〒現住所、d 連絡先電話番号

※2 送付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8 横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

## 8. 出願にあたっての注意事項（前期日程）

(1) 学部・学科等の出願方法

### ①教育学部

教育学部学校教員養成課程は「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」の3コースで構成されます。また、各コースの専門領域・募集人員・試験科目は、次のとおりです。なお、各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により合格者数に増減があります。

コース	専門領域	募集人員	試験科目
言語・文化・社会系教育コース	国語	32	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	社会		
	英語		
	日本語教育		
	教育学		
自然・生活系教育コース	数学	29	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	理科		
	技術		
	家庭科		
芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	7	面接試験 実技検査（音楽の実技）
	美術	5	面接試験 実技検査（美術の実技）
	保健体育	7	面接試験 実技検査（体育の実技）
	心理学	8	面接試験 小論文（教育課題論文）試験
	特別支援教育	12	面接試験 小論文（教育課題論文）試験

(ア)「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース」のいずれか1つのコースを選択してください。なお、「芸術・身体・発達支援系教育コース」は、専門領域についても音楽・美術・保健体育・心理学・特別支援教育のいずれか1つの領域を選択してください。入学後は合格した入試で選択したコース・専門領域に所属することとし、コース・専門領域の変更は認めません。

(イ)「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）」（募集人員計81名）は面接試験と小論文（教育課題論文）試験を受験してください。「芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）」（募集人員計19名）は、面接試験と選択した専門領域の実技検査「音楽の実技」・「美術の実技」・「体育の実技」を受験してください。また、入学者の選抜は選択したコース・専門領域ごとに行います。

(ウ)「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」に入学した者については、第1学年の10月頃までに、コース内で専門領域を決定します。この決定は、本人の希望及び入学後の学修状況をもとに行います。ただし、特定の専門領域を多数の者が希望した時には、選考試験を行います。

(エ) 学校教員養成課程における修学上の留意事項については、本学のウェブサイトを確認してください。

<https://www.edu.ynu.ac.jp/campus/attention/>

## ②経済学部

(ア) 志望できるプログラム（一般、<sup>ディーセップ</sup>DSEPまたは<sup>エルビーブ</sup>LBEEP）は1つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、<sup>ディーセップ</sup>DSEP志望の受験者は個別学力検査の数学科目上位成績者から、<sup>エルビーブ</sup>LBEEP志望の受験者は大学入学共通テスト及び個別学力検査の偏差値の合計の高い者から合格者を選抜します。そのため<sup>ディーセップ</sup>DSEPまたは<sup>エルビーブ</sup>LBEEPを志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

(イ) 入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

## ③経営学部

(ア) 志望できるプログラム（一般または<sup>ディーセップ</sup>DSEP）は1つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、<sup>ディーセップ</sup>DSEP志望の受験者については個別学力検査の数学科目上位成績者から、合格者を選抜します。そのため<sup>ディーセップ</sup>DSEPを志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

(イ) 入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

(ウ) 選択教科（「数学」又は「外国語」）は、出願時に選択してください。ただし、<sup>ディーセップ</sup>DSEPを志望する者は、数学を選択してください。

## ④理工学部

(ア) 出願できる学科は1つに限ります。

(イ) 機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科では、同じ学科内に限り、他の教育プログラムを第2志望とすることができます。化学・生命系学科では、第2志望を選択することはできません。

化学・生命系学科の化学教育プログラム及び化学応用教育プログラムの学生募集は分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。

各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第2志望の教育プログラムを選択する際は十分考慮してください。

- (ウ) 入学後に、同じ学科内の他の教育プログラムに変更を申請することができます(転E P制度)。変更を申請できる機会はあらかじめ定められた時期の1度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。なお、変更できる人数には制限があります。また、化学・生命系学科の化学教育プログラムと化学応用教育プログラムの間の転E P制度はありません。

### ⑤都市科学部

出願できる学科は1つに限ります。

#### (2) 出願及び受験にあたっての注意事項

- ①出願後の学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科・科目の変更は認めません。
- ②出願する際には「入学志願票」の記載事項を再度確認し、誤りがないか確認の上、郵送してください。
- ③出願書類記載事項に入力漏れやその他の不備がある場合、出願書類は受理しません。
- ④出願書類は返却しません。
- ⑤以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
  - (ア) カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
  - (イ) 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
  - (ウ) 試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - (エ) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。
- ⑥以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記⑤と同じです。
  - (ア) 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
  - (イ) 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - (ウ) 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
  - (エ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- ⑦出願書類に虚偽の記載があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。
- ⑧氏名を登録する際は、常用漢字を使用してください。合格通知書および入学許可書には、本学のウェブ出願登録時に登録した氏名ではなく、大学入学共通テストの出願時に登録した氏名を記載します。

#### (3) その他

出願書類の受付状況は、志願者自身によりウェブ出願システムのマイページ上で確認してください。出願ステータスが「出願申込確定」と表示されていれば、受付されています。

ウェブ出願システムURL：<https://e-apply.jp/ds/ynu/>

## Ⅱ 入学者選抜方法等(前期日程)

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書、自己推薦書及び学部、学科等によっては、個別学力検査、実技検査の結果を総合して行います。

各学部の試験教科・科目は、11～23ページの「5 試験教科・科目」を参照してください。

### 1. 試験科目設定の意図

#### (1) 教育学部

教員となるための資質として、広い視野・教育に対する関心・問題解決への強い意志を必要とします。このため、高校時代には読解力や英語力を身につけ、文理双方の幅広い基礎教科を学んでください。

一般選抜では、教員志望の熱意、コミュニケーション能力等の適性を確認し、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するために、受験者全員に集団面接試験を課します。

「言語・文化・社会系教育コース」、「自然・生活系教育コース」、「芸術・身体・発達支援系教育コース(心理学・特別支援教育専門領域)」を受験する者には、読解力・文章作成力・論理的思考力などの教員に欠かせない基礎的な資質を評価するために小論文(教育課題論文)試験を課します。また、音楽・美術・保健体育専門領域を受験する者には音楽・美術・体育の実技検査を課し、学校教員に必要な実技能力を備えているか評価します。

#### (2) 経済学部

高等学校では基本科目を幅広く学んでください。一般選抜では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学および英語の両方に優れた人を求めます。

#### (3) 経営学部

高等学校では、基本科目を幅広く学ぶとともに、とりわけ数学と英語の学力向上に努めてください。一般選抜では論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を求めます。

#### (4) 理工学部

高等学校で学ぶ国語、社会、数学、理科、英語の幅広い基礎的な能力を前提とし、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の知識、技能および思考力を特に重視します。

### 機械・材料・海洋系学科

機械・材料・海洋系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力をしっかり身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、理工学を学ぶうえで重要な基礎となる数学、物理、化学、英語を課します。

### 化学・生命系学科

#### ①化学E P・化学応用E P

高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理などの基本科目を学び知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜では、化学をはじめ、数学や物理に秀でた人を求めます。前期日程では、数学、物理・化学に加え英語を課します。

## ②バイオE P

高等学校では、バイオサイエンスの学習に必要な生物を中心に、数学、物理、化学などの基本科目をしっかり学び知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、理科、数学及び英語の基礎学力を確認します。なお、理科は前期日程では物理、化学、生物から2科目を選択します。

## 数物・電子情報系学科

数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の前期日程では、数学、物理・化学、英語を課します。

## (4) 都市科学部

### 都市社会共生学科

高等学校では、文理双方の基礎科目を幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、国語、英語及び地理歴史・公民の学力を土台とする小論文を課すことで、読解力・表現力と論理的思考を問います。

### 建築学科

高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、数学、理科、英語を課します。

### 都市基盤学科

高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。

一般選抜の前期日程では、数学、理科、英語を課します。

### 環境リスク共生学科

高等学校では、英語、数学、国語、社会、理科の基礎科目をしっかりと学んでください。

一般選抜の前期日程では数理的な能力や理科の能力、さらにグローバルな専門家として活躍するための英語力を問い、環境リスクを扱うために必要なバランスの良い学力を持つ人を求めます。

## 2. 2段階選抜（前期日程）

経済学部、経営学部及び理工学部においては、入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、学部が指定する大学入学共通テストの成績及び調査書により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行います。

2段階選抜 実施予定学部	実施方法
経済学部	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約7倍</b> を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目）の成績及び調査書によって行います。
経営学部	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約6倍</b> を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科6科目又は5教科7科目）の成績及び調査書によって行います。
理工学部	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約6倍</b> を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 ※機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科は学科募集人員、化学・生命系学科はEP募集人員（「化学EPおよび化学応用EP」、「バイオEP」）に対する入学志願者数でそれぞれ倍率を計算します。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科7科目）の成績及び調査書によって行います。

注 大学入学共通テストにおいて学部・学科等が指定する教科・科目を受験していない者は、「第1段階選抜の合格者判定」の対象とはしませんので注意してください。（個別学力検査等は受験できません）

**【参考】教育学部及び都市科学部は、2段階選抜を行いません。**

3. 個別学力検査等日程（前期日程）

各学部等で指定した「受験を要する教科・科目等」をすべて受験してください。

1科目でも受験していない者は、合格者とはなりません。

試験日には、「本学の受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両受験票を必ず持参してください。

学部・学科等		試験区分	試験日	出題教科	時間	
教育学部	学校教員養成課程	言語・文化・社会系教育コース 自然・生活系教育コース 芸術・身体・発達支援系教育コース（心理学・特別支援教育専門領域）	面接	2月25日(日) 集合時間8:30 または10:30	面接試験(集団)	9:00～10:30 または14:00～
		学力検査	小論文 (教育課題論文)		11:00～13:00	
		芸術・身体・発達支援系教育コース（音楽・美術・保健体育専門領域）	実技検査	2月25日(日) (集合時間8:30)	音楽の実技	9:00～
			面接		面接試験(集団)	14:00～
			面接	2月25日(日) (集合時間8:30)	面接試験(集団)	9:00～10:30
			実技検査		美術の実技	11:00～16:00
			面接	2月25日(日) (集合時間8:30)	面接試験(集団)	9:00～10:30
実技検査		体育の実技	11:00～			
経済学部	経済学科	学力検査	2月25日(日) (集合時間9:00)	数 学	9:30～11:00	
				外国語	12:40～14:10	
経営学部	経営学科	学力検査	2月25日(日) 集合時間 数 学 9:00 外国語 12:10	数 学	9:30～11:00	
				外国語	12:40～14:10	
理工学部	機械・材料・海洋系学科 化学・生命系学科 数物・電子情報系学科	学力検査	2月25日(日) (集合時間8:30)	数 学	9:00～11:30	
				外国語	12:40～14:10	
				理 科	15:00～17:30	
都市科学部	都市社会共生学科	学力検査	2月25日(日) (集合時間9:00)	小論文	9:30～11:30	
	建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	学力検査	2月25日(日) (集合時間8:30)	数 学	9:00～11:30	
				外国語	12:40～14:10	
				理 科	15:00～17:30	

(注) 教育学部では、指定された全ての「受験を要する教科・科目等」の受験が終了するまで、試験室又は控室等から退出できません。受験者多数の場合、面接時間までの待機時間が長くなる場合があります。なお、教育学部学力検査「小論文」の受験者は、学力検査「小論文」の前あるいは後に面接を行います。

(注) 経営学部では、出願時に選択した数学又は外国語のいずれかを受験してください。

※ 集合時間については予定時間です。受験票と一緒にダウンロードする「令和6年度個別学力検査等受験上の注意」で再度確認してください。

なお、試験場への入場開始時刻は8時を予定しています。

#### 4. 合格者発表（前期日程）

##### (1) 第1段階選抜合格者発表

第1段階選抜合格者発表は、令和6年(2024年)2月13日(火)12時頃に、合否照会システム(受験番号と暗証番号(生年月日半角数字6桁)で認証します：<https://www.gouhi.com/ynu/>)での発表と郵送による通知で行います。システム上、第1段階選抜の結果に関わらず受験票をダウンロードすることができます。受験票をダウンロードできたことで合否を判断せず、必ず第1段階選抜の結果を確認して、以後の選抜を受験するようにしてください。

なお、**第1段階選抜を行わない場合には、上記発表日までにその旨を本学ウェブサイトに掲載し、合否照会システムでの発表は行いません。**

##### (2) 合格者発表

下記日時に、合否照会システム(受験番号と暗証番号(生年月日半角数字6桁)で認証します：<https://www.gouhi.com/ynu/>)での発表と、合格者のみへ「合格通知書」及び「入学手続書類」等を速達郵便で発送します。

前期日程合格者発表日時	令和6年(2024年)3月7日(木)12時頃
-------------	------------------------

(注1) (1) 第1段階選抜合格者発表の合否照会システムでの確認期間は、発表日から概ね4日間程度とします。

(注2) (2) 合格者発表の合否照会システムでの確認期間は、入学手続期間最終日までとします。

(注3) 本学構内における合格者受験番号の掲示発表は行いません。

(注4) 合格者発表直後は、回線が混み合い接続に時間がかかる場合があります。その場合は、少し時間をあけて接続しなおしてください。

(注5) 電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

##### (3) 欠員の補充等（追加合格等）

入学手続締切期日後に入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格により欠員補充を行います。また、必要がある場合には欠員補充第2次募集を行います。

###### ①追加合格等の実施の有無

令和6年(2024年)3月28日(木)までに本学ウェブサイトにて情報を掲載します。

(本学ウェブサイトアドレス <https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/release/index.html>)

###### ②追加合格者への連絡

令和6年(2024年)3月28日(木)から3月31日(日)まで、追加合格該当者に対し合格を通知します。入学の意思について、志願者本人(保護者等の代理は認められません。)に確認をしますので、志願者本人に連絡が取れるようにしておいてください。

本学からの連絡は、ウェブ出願登録時に登録した「志願者住所・連絡先(合格通知等送付先)」の連絡先へ、電話等により直接志願者本人に連絡します。本学からの連絡が確実に受けられるようにしておいてください。

本学から連絡の際、再度にわたる電話連絡にも関わらず、不在等のため志願者本人の意思確認ができなかった場合や、すみやかに意思表示されなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。



合格者には、合格通知書及び入学手続書類等を郵送します。

※追加合格等を実施した場合、当初の合格者発表において入学手続を完了した者については、学科・コース・教育プログラム等の変更は行いません。

## 5. 入学手続（前期日程）

合格通知を受けた者は、**郵送(書留速達)**により下記の入学手続期間に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、入学手続書類で指示します。

本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできません。

また、前期日程の入学手続を行った者は、後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

### (1) 入学手続期間

入学手続は下記の期間内とし、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続を認めません。

**令和6年(2024年)3月8日(金)から令和6年(2024年)3月15日(金)まで必着**

### (2) 入学手続に必要な書類

- ①令和6年度大学入学共通テスト受験票
- ②卒業（修了）証明書 【高等学校等を卒業（修了）見込みで受験した者のみ】
- ③その他の書類等 合格通知書に同封する「入学手続書類」で指示します。

### (3) 入学料（入学手続時に必要）

入学料 282,000円（現行）

※入学料は、改定される場合があります。

(注) 金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、**本人確認書類の提示**が必要となります。

### (4) 入学後に必要な学生納付金

授業料

半期分 267,900円（現行）

年 額 535,800円（現行）

(注1) 授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

(注3) 授業料については、入学後に口座振替により納付することになります。

### (5) 入学手続きに関する留意事項

- ①入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。
- ②入学料および授業料の納付が困難な者に対して、一定の条件の下に選考の上、納付を免除・徴収猶予する制度があります。申請要領等については、56ページを参照してください。
- ③入学料・授業料以外の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、TOEFL-ITP受験料（必修英語科目の習熟度別クラス編成および単位認定に利用）、校友会費・同窓会費の納付について、入学手続関係書類と共に案内します。

## 8 後期日程

横浜国立大学一般選抜では、ウェブ出願を導入しています。

ウェブ出願システムへは次の URL (<https://e-apply.jp/ds/ynu/>) からアクセスできます。

### I 出願手続等（後期日程）

#### 1. 出願期間

##### (1) ウェブ出願登録期間

令和6年(2024年)1月15日(月)10時～2月2日(金)17時

※マイページ登録の開始は令和6年(2024年)1月15日(月)10時からです。

※ウェブ出願登録の完了時にはメールの配信はありません。登録完了の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込済(支払済)」又は「出願申込済(支払不要)」と表示されていれば、ウェブ出願登録を完了できています。

※全ての書類が郵送で本学に到着した時点をもって出願手続が完了となります。ウェブ出願システムで出願申請を行っただけでは出願手続は完了しませんので、必ず郵送による出願まで完了してください。

##### (2) 郵送出願期間

令和6年(2024年)1月22日(月)～2月2日(金)

※郵送出願期間を過ぎて令和6年(2024年)2月5日(月)10時までには到着した出願書類のうち、令和6年(2024年)2月1日(木)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。(ポスト投函不可)

※郵送出願の受理時にはメールの配信はありません。出願受理の確認は、ウェブ出願システムのマイページで行ってください。「出願申込確定」と表示されていれば、郵送出願を受理しています。

#### 2. ウェブ出願登録

50ページから53ページのウェブ出願の流れを参照して登録を行ってください。

ウェブ出願を行うにあたり、志願者本人の写真データ(ファイル形式はjpeg・png・bitmap・gifに対応、10メガバイト以内、上半身・無帽、マスクなし)を事前に用意してください。

なお、ウェブ出願登録を行っただけでは本学への出願は完了になりません。40ページの「4. 郵送出願方法」以降の案内に従って、必ず郵送による出願まで完了してください。

#### ※ウェブ出願登録時に入力ミスが生じた場合

(1) 検定料を納付する前 : 登録を最初からやり直してください

(2) 検定料を納付した後で、出願書類を郵送する前

①住所や電話番号の変更 : 本学学務・国際戦略部入試課(最終ページにアドレスを記載しています)へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更 : 出願書類を郵送せず、登録を最初からやり直してください。郵送しなかった出願の検定料は、申請に基づいて返還します。申請の方法は、42ページの「7. 入学検定料の返還」を確認してください。「(1)入学検定料の返還請求ができるもの①入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合」に該当します。

(3) 検定料を納付した後で、出願書類を郵送した後

①住所や電話番号の変更 : 本学学務・国際戦略部入試課(最終ページにアドレスを記載しています)へメールで氏名・志望学部・受付番号を明記の上、変更内容を連絡してください

②志望学部・学科等や選択教科の変更 : 変更は受け付けられません

ウェブ出願登録後に印刷した志願票に、記載内容の修正や追記はしないでください。修正や追記をした内容は出願情報に反映されません。

### 3. 入学検定料

(1) 払込金額

**17,000円**

(2) 払込期間

ウェブ出願登録完了後に払込が可能になります。払込可能な期間はウェブ出願登録完了日を含め4日間です。令和6年(2024年)1月30日(火)以降にウェブ出願登録を完了した場合には、2月2日(金)17時が払込の締め切りになります。払込後にウェブ出願サイトからダウンロード可能になる様式があるため、余裕を持ってウェブ出願登録および払込を行ってください。

(3) 払込方法

52ページの「入学検定料の支払い」を参照してください。

(4) 払込済の入学検定料

42ページの「7. 入学検定料の返還」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

※本学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。

申請を行う場合には、ウェブ出願登録冒頭の入試区分選択時に、該当の項目を選択してください。手順に沿って「入学検定料免除特別措置申請書」をダウンロードして印刷し、郵送出願時に免除事由に関する証明書等と共に提出してください。

### 4. 郵送出願方法

(1) 「5. 出願書類等」を取り揃え、「8. 出願にあたっての注意事項」等をよく読んで、検定料払込後にウェブ出願サイトから様式「出願書類提出用宛名シート」をダウンロードして印刷し、市販の角形2号封筒に貼り付け、書留速達で郵送してください。(大学窓口に持参されても受付しません。)

(2) 出願にあたっては、61～63ページの「受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表」で必ず確認してください。

(3) 本学の前期日程と後期日程両方の選抜に併願する場合は、日程ごとに必要書類を取り揃え、それぞれ所定の日程の様式「出願書類提出用宛名シート」を使用して別々に郵送してください。

### 5. 出願書類等

64ページの「横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト」で確認しながら用意してください。①～③は全員が提出し、④・⑤は該当者のみ提出してください。

提出書類等	摘 要
①入学志願票	(1) 検定料払込後にウェブ出願サイトからダウンロードして、A4サイズでカラーで印刷してください。
令和6共通テスト成績請求票	(2) 印字された内容を確認してください。 (3) 大学入試センターから交付された「令和6共通テスト成績請求票」(原本のみ。コピー不可。)を、所定の欄に貼り付けてください。 ※ 後期日程・・・「 <span style="border: 1px solid black;">後</span> 国公立後期日程」

<p>②自己推薦書</p> <p><u>本要項の70ページの様式又はウェブ出願登録後にダウンロードできる様式のいずれか(記載内容は同一)を印刷して使用</u></p>	<p>(1) 志望学部・学科等のアドミッションポリシーを踏まえた大学入学後の目標と、その目標を達成するために努力したいことを、本要項70ページの様式をA4サイズで印刷して、<u>300字以上400字以内</u>で記入してください。</p> <p>(2) 学びに対する姿勢と学習意欲を確認します。</p> <p>(3) 志願者本人が手書きで記入してください。(自筆が困難である者のうち、受験上の配慮(24ページ)を認められた者は除く。)</p> <p>(4) 各学部・学科等のアドミッションポリシー(入学者受入方針)は、本要項2～6ページまたは横浜国立大学ウェブサイト(トップページ&gt;教育・学生生活&gt;学士課程教育の方針「YNU initiative」)を参照してください。</p> <p>(5) 学部ごとの注意点は次の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="459 611 1409 1077"> <thead> <tr> <th>志望学部</th> <th>使用する様式</th> <th>記入上の注意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経済学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可) ・第2志望の学科・EPがある場合、第2志望を含めて記入してもかまいません。</td> </tr> <tr> <td>都市科学部</td> <td>様式2</td> <td>・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 本学の前期日程と後期日程とも<u>同一の学部・学科</u>に併願する場合は、自己推薦書を記入した後にコピーして、前期日程では「自己推薦書の原本(直接手書きしたもの)」を、後期日程では「自己推薦書のコピー(余白に「コピー」と記入)」を提出してください。</p> <p>(7) 本学の前期日程と後期日程で<u>異なる学部・学科</u>に併願する場合は、本要項66～70ページの様式又はウェブ出願登録後にダウンロードできる様式のいずれか(記載内容は同一)を印刷して、前期日程と後期日程それぞれ、「自己推薦書の原本(直接手書きしたもの)」を提出してください。</p>	志望学部	使用する様式	記入上の注意	経済学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)	経営学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)	理工学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可) ・第2志望の学科・EPがある場合、第2志望を含めて記入してもかまいません。	都市科学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)
志望学部	使用する様式	記入上の注意														
経済学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)														
経営学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)														
理工学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可) ・第2志望の学科・EPがある場合、第2志望を含めて記入してもかまいません。														
都市科学部	様式2	・黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。(黒のボールペンも可)														
<p>③調査書等</p>	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校の卒業生(卒業見込者)は、<b>卒業後(卒業見込者は令和5年(2023年)10月以降)</b>に出身学校長が作成し、<u>厳封した調査書</u>を提出してください。調査書はA3判、A4判のいずれでも可とし、枚数は問いません。学校長は調査書の作成にあたり学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」欄にⒶと標示し、その理由を備考欄に記入してください。</p> <p>(注) 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、「卒業証明書」及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過により「単位修得証明書」が発行できない場合は、「学校長等が作成した発行できない旨の文書」を提出してください。</p> <p>※指導要録の保存期間については、成績証明書(概ね5年)、単位修得証明書(概ね20年)となっています。詳細は出身学校に確認してください。</p> <p>(2) 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課</p>															

	<p>程を修了した者（修了見込者）は、前記(1)の調査書に準じて作成したものを提出してください。</p> <p>(3) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、<b>合格成績証明書</b>を提出してください。なお、<b>試験免除科目</b>がある場合は、<b>免除要件に係る証明書類</b>（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定の合格証明書等）を併せて提出してください。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の者は、<b>修了(見込)証明書〔資格(取得見込)証明書〕及び成績証明書</b>を提出してください。</p>
④入学資格認定証明書	④出願資格 (4) (9ページ参照)により出願する者は、本学学長が証明した「入学資格認定証明書」を提出してください。
⑤入学検定料免除特別措置申請書	ウェブ出願登録後に、ウェブ出願サイトからダウンロードしてA4サイズで印刷してください。 免除事由に関する証明書等を添付してください。

## 6. 受験票

- (1) 「受験票」は、ウェブ出願登録時の情報を元に生成されます。
- (2) 「受験票」について、令和6年(2024年)2月20日(火)にウェブ出願登録時に登録したアドレス宛にメールで受験票発行開始の通知をします。ウェブ出願サイトのマイページからダウンロードしてA4サイズでカラーで印刷してください。ダウンロードや印刷ができない場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。
- (3) ダウンロードして印刷した「受験票」の記載事項を確認し、氏名・写真の誤りがあった場合は、本学学務・国際戦略部入試課まで連絡してください。  
ただし、志望学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科の変更は認めません。  
なお、手書きによる修正は無効です。

## 7. 入学検定料の返還

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

- (1) 入学検定料の返還請求ができるもの
- ① 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
  - ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
  - ③ 出願書類の不備等により出願が受理されなかった場合
  - ④ 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による無資格者であることが判明した場合
  - ⑤ 第1段階選抜で不合格になった場合
- (2) 返還する入学検定料の金額
- 志願者の申し出により、上記①、②、③は17,000円を、④、⑤は13,000円を返還します。
- (注) 日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料は志願者負担となります。

### (3) 返還請求の方法

上記(1)の①、②に該当する場合は、次の※1 a～dの4項目を明記した入学検定料返還請求願(様式は問わない)を作成し、必ず「払込完了画面のコピー」または「領収書等」を添付して、次の※2 送付先へ速やかに郵送してください。

また、③の場合は出願書類返却時に、④、⑤の場合は該当事項の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上必ず「払込完了画面のコピー」または「領収書等」を添付して郵送してください。

※1 入学検定料返還請求願(様式は問わない)に記載する項目

a 返還請求の理由、b 氏名(ふりがな)、c 〒現住所、d 連絡先電話番号

※2 送付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8 横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

## 8. 出願にあたっての注意事項(後期日程)

### (1) 学部・学科等の出願方法

#### ①経済学部

(ア) 志望できるプログラム(一般、<sup>ディーセップ</sup>DSEPまたは<sup>エルビーブ</sup>LBEEP)は1つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、<sup>ディーセップ</sup>DSEP志望の受験者は個別学力検査の数学科目上位成績者から、<sup>エルビーブ</sup>LBEEP志望の受験者は大学入学共通テスト及び個別学力検査の偏差値の合計の高い者から合格者を選抜します。そのため<sup>ディーセップ</sup>DSEPまたは<sup>エルビーブ</sup>LBEEPを志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

(イ) 入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

(ウ) 選択教科(「数学」又は「外国語」)は、出願時に選択してください。ただし、<sup>ディーセップ</sup>DSEPを志望する者は、「数学」を選択して受験してください。

#### ②経営学部

(ア) 志望できるプログラム(一般または<sup>ディーセップ</sup>DSEP)は1つに限ります。選抜については、全てのプログラムの受験者を同一の基準で行い、一般プログラムの合格者として決定します。その合格者のうち、<sup>ディーセップ</sup>DSEP志望の受験者については個別学力検査の数学科目上位成績者から、合格者を選抜します。そのため<sup>ディーセップ</sup>DSEPを志望した場合でも、選抜の結果、一般プログラムの合格者となることがあります。

(イ) 入学後に、他のプログラムに変更をすることはできません。

#### ③理工学部

(ア) 出願できる学科は1つに限ります。

(イ) 機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科では、同じ学科内に限り、他の教育プログラムを第2志望とすることができます。化学・生命系学科では、第2志望を選択することはできません。

化学・生命系学科の化学教育プログラム及び化学応用教育プログラムの学生募集は分けずに行い、教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づいて行います。

各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第2志望の教育プログラムを選択する際は十分考慮してください。

(ウ) 入学後に、同じ学科内の他の教育プログラムに変更を申請することができます(転E P制度)。  
変更を申請できる機会はあらかじめ定められた時期の1度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。なお、変更できる人数には制限があります。また、化学・生命系学科の化学教育プログラムと化学応用教育プログラムとの間の転E P制度はありません。

#### ④都市科学部

出願できる学科は1つに限ります。

#### (2) 出願にあたっての注意事項

- ①出願後の学部・学科・コース・教育プログラム等及び選択教科・科目の変更は認めません。
- ②出願する際には「入学志願票」の記載事項を再度確認し、誤りがないか確認の上、郵送してください。
- ③出願書類記載事項に入力漏れやその他の不備がある場合、出願書類は受理しません。
- ④出願書類は返却しません。
- ⑤以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
  - (ア) カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
  - (イ) 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
  - (ウ) 試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - (エ) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。
- ⑥以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記⑤と同じです。
  - (ア) 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
  - (イ) 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - (ウ) 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
  - (エ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- ⑦出願書類に虚偽の記載があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。
- ⑧氏名を登録する際は、常用漢字を使用してください。合格通知書および入学許可書には、本学のウェブ出願登録時に登録した氏名ではなく、大学入学共通テストの出願時に登録した氏名を記載します。

#### (3) その他

出願書類の受付状況は、志願者自身によりウェブ出願システムのマイページ上で確認してください。出願ステータスが「出願申込確定」と表示されていれば、受付されています。

ウェブ出願システムURL：<https://e-apply.jp/ds/ynu/>

## Ⅱ 入学者選抜方法等(後期日程)

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書、自己推薦書及び個別学力検査の結果を総合して行います。

各学部の実験教科・科目は11～23ページの「5 試験教科・科目」を参照してください。

### 1. 試験科目設定の意図

#### (1) 経済学部

高等学校では基本科目を幅広く学んでください。一般選抜では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。後期日程では数学か英語のいずれかに秀でた人を求めます。

#### (2) 経営学部

高等学校では、基本科目を幅広く学ぶとともに、とりわけ数学と英語の学力向上に努めてください。一般選抜では論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視します。後期日程では数学および英語の両方に優れた人を求めます。

#### (3) 理工学部

高等学校で学ぶ国語、社会、数学、理科、英語の幅広い基礎的な能力を前提とし、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の知識、技能および思考力を特に重視します。

### 機械・材料・海洋系学科

機械・材料・海洋系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力をしっかり身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の後期日程では、数学および物理・化学を課し、その科目に秀でた人を求めます。

### 化学・生命系学科

#### ① 化学E P・化学応用E P

高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理などの基本科目を学び知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜では、化学をはじめ、数学や物理に秀でた人を求めます。

#### ② バイオE P

高等学校では、バイオサイエンスの学習に必要な生物を中心に、数学、物理、化学などの基本科目をしっかり学び知識を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

理科は後期日程では物理と化学を課します。

### 数物・電子情報系学科

数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する知識・学力を身に付けていることを求めます。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すために、英語に関する知識と技能を身に付けていることを求めます。

一般選抜の後期日程では、特に数学と物理・化学に秀でた人を求めますが、国際性を考慮し、大学入学共通テストにおいては外国語を重視して考査します。



(4) 都市科学部

**都市社会共生学科**

高等学校では、文理双方の基礎科目を幅広く学んでください。  
一般選抜の後期日程では、面接試験を課すことで、総合的な思考力を問います。

**建築学科**

高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。  
一般選抜の後期日程では、数学、理科を必須科目とすることで、論理的能力に秀でた人を求めます。

**都市基盤学科**

高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでください。  
一般選抜の後期日程では、数学、理科を必須科目とすることで、論理的能力を秀でた人を求めます。

**環境リスク共生学科**

高等学校では、英語、数学、国語、社会、理科の基礎科目をしっかりと学んでください。  
一般選抜の後期日程では数学と小論文を課して論理的思考力と表現力に秀でた人を求めます。

**2. 2段階選抜（後期日程）**

経済学部、経営学部、理工学部及び都市科学部（都市社会共生学科のみ）においては、入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、学部が指定する大学入学共通テストの成績及び調査書により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行います。

2段階選抜 実施予定学部	実施方法
経済学部	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約15倍</b> を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科6科目又は5教科7科目）の成績及び調査書によって行います。
経営学部	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約10倍</b> を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科6科目又は5教科7科目）の成績及び調査書によって行います。
理工学部	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約8倍</b> を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 ※機械・材料・海洋系学科及び数物・電子情報系学科は学科募集人員、化学・生命系学科はEP募集人員（「化学EPおよび化学応用EP」、「バイオEP」）に対する入学志願者数でそれぞれ倍率を計算します。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科7科目）の成績及び調査書によって行います。
都市科学部 （都市社会 共生学科の み）	(1) 入学志願者数が募集人員の <b>約10倍</b> （後期日程）を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 (2) 第1段階選抜は、大学入学共通テスト（5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目）の成績及び調査書によって行います。

注 大学入学共通テストにおいて学部・学科等が指定する教科・科目を受験していない者は、「第1段階選抜の合格者判定」の対象とはしませんので注意してください。（各学部の個別学力検査等は受験できません。）

**【参考】都市科学部建築学科・都市基盤学科・環境リスク共生学科は、2段階選抜を行いません。**

### 3. 個別学力検査等日程（後期日程）

各学部等で指定した「受験を要する教科・科目等」をすべて受験してください。

1 科目でも受験していない者は、合格者とはなりません。

試験日には、「本学の受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両受験票を必ず持参してください。

学部・学科		試験区分	試験日	出題教科	時間
経済学部	経済学科	学力検査	3月12日(火) 集合時間 数学 9:00 外国語 12:30	数学	9:30~11:30
				外国語	13:00~14:30
経営学部	経営学科	学力検査	3月12日(火) (集合時間9:00)	数学	9:30~11:30
				外国語	13:00~14:30
理工学部	機械・材料・海洋系学科 化学・生命系学科 数物・電子情報系学科	学力検査	3月12日(火) (集合時間9:00)	数学	9:30~12:00
				理科	13:30~15:30
都市科学部	都市社会共生学科	面接	3月12日(火) (集合時間9:00)	面接	9:30~
	建築学科 都市基盤学科	学力検査	3月12日(火) (集合時間9:00)	数学	9:30~12:00
				理科	13:30~15:30
環境リスク共生学科	学力検査	3月12日(火) (集合時間9:00)	数学	9:30~12:00	
				小論文	13:30~15:00

(注) 経済学部では、出願時に選択した数学又は外国語のいずれかを受験してください。

※集合時間については予定時間です。受験票と一緒にダウンロードする「令和6年度個別学力検査等受験上の注意」で再度確認をしてください。

なお、試験場への入場開始時刻は8時を予定しています。

### 4. 合格者発表（後期日程）

#### (1) 第1段階選抜合格者発表

第1段階選抜合格者発表は、令和6年(2024年)2月20日(火)12時頃に、合否照会システム(受験番号と暗証番号(生年月日半角数字6桁)で認証します:<https://www.gouhi.com/ynu/>)での発表と郵送で通知にて行います。システム上、第1段階選抜の結果に関わらず受験票をダウンロードすることができます。受験票をダウンロードできたことで合否を判断せず、必ず第1段階選抜の結果を確認して、以後の選抜を受験するようにしてください。

なお、第1段階選抜を行わない場合には、上記発表日までにその旨を本学ウェブサイトに掲載し、合否照会システムでの発表は行いません。

## (2) 合格者発表

下記日時に、合否照会システム(受験番号と暗証番号(生年月日半角数字6桁)で認証します：<https://www.gouhi.com/ynu/>)での発表と、合格者のみへ「合格通知書」及び「入学手続書類」等を速達郵便で発送します。

後期日程合格者発表日時	令和6年(2024年)3月21日(木) 12時頃
-------------	--------------------------

(注1) (1) 第1段階選抜合格者発表の合否照会システムでの確認期間は、発表日から概ね4日間程度とします。

(注2) (2) 合格者発表の合否照会システムでの確認期間は、入学手続期間最終日までとします。

(注3) 本学構内における合格者受験番号の掲示発表は行いません。

(注4) 合格者発表直後は、回線が混み合い接続に時間がかかる場合があります。その場合は、少し時間をあけて接続しなおしてください。

(注5) 電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

## (3) 欠員の補充等(追加合格等)

入学手続締切期日後に入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格により欠員補充を行います。また、必要がある場合には欠員補充第2次募集を行います。

### ①追加合格等の実施の有無

令和6年(2024年)3月28日(木)までに本学ウェブサイトにて情報を掲載します。

(本学ウェブサイトアドレス <https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/release/index.html>)

### ②追加合格者への連絡

令和6年(2024年)3月28日(木)から3月31日(日)まで、追加合格該当者に対し合格を通知します。入学の意思について、志願者本人(保護者等の代理は認められません。)に確認をしますので、志願者本人に連絡が取れるようにしておいてください。

本学からの連絡は、ウェブ出願登録時に登録した「志願者住所・連絡先(合格通知等送付先)」の連絡先へ、電話等により直接志願者本人に連絡します。本学からの連絡が確実に受けられるようにしておいてください。

本学から連絡の際、再度にわたる電話連絡にも関わらず、不在等のため志願者本人の意思確認ができなかった場合や、すみやかに意思表示されなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

合格者には、合格通知書及び入学手続書類等を郵送します。

※追加合格等を実施した場合、当初の合格者発表において入学手続を完了した者については、学科・コース・教育プログラム等の変更は行いません。

## 5. 入学手続(後期日程)

合格通知を受けた者は、**郵送(書留速達)**により下記の入学手続期間に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、入学手続書類で指示します。

本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできません。

### (1) 入学手続期間

入学手続は下記の期間内とし、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続を認めません。

**令和6年(2024年)3月22日(金)から令和6年(2024年)3月27日(水)まで必着**

※令和6年(2024年)3月27日(水)に限り、学務・国際戦略部入試課窓口でも受け付けます。  
(受付時間：13時～17時)

(2) 入学手続きに必要な書類

- ①令和6年度大学入学共通テスト受験票
- ②卒業(修了)証明書 【高等学校等を卒業(修了)見込みで受験した者のみ】
- ③その他の書類等 合格通知書に同封する「入学手続き書類」で指示します。

(3) 入学料(入学手続き時に必要)

入学料 282,000円(現行)

※入学料は、改定される場合があります。

(注) 金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、**本人確認書類の提示**が必要となります。

(4) 入学後に必要な学生納付金

授業料

半期分 267,900円(現行)

年 額 535,800円(現行)

(注1) 授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

(注3) 授業料については、入学後に口座振替により納付することになります。

(5) 入学手続きに関する留意事項

- ①入学手続き完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。
- ②入学料および授業料の納付が困難な者に対して、一定の条件の下に選考の上、納付を免除・徴収猶予する制度があります。申請要領等については、56ページを参照してください。
- ③ 入学料・授業料以外の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、TOEFL-ITP受験料(必修英語科目の習熟度別クラス編成および単位認定に利用)、校友会費・同窓会費の納付について、入学手続き関係書類と共に案内します。

# Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

# 1

### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。「**一般選抜学生募集要項**」をよく読み、必要書類および入試制度を十分に確認してください。必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類… 調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票、自己推薦書など  
(自己推薦書の様式は、一般選抜学生募集要項の巻末にあります)



## STEP

# 2

### Web出願システムにアクセス

Web出願システム ▶ <https://e-apply.jp/ds/ynu/>

または、

大学ウェブサイト ▶ <https://www.ynu.ac.jp/exam/websystem.html>  
からアクセス

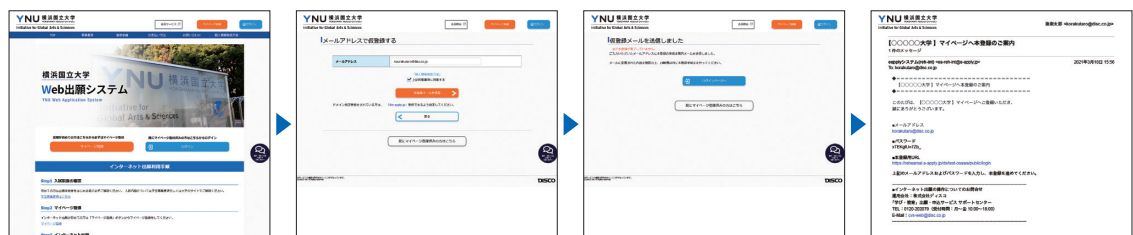


## STEP

# 3

### マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。  
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。  
マイページへ  
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。  
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

## STEP

# 4

## 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の  
**出願手続きを行う** ボタン  
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



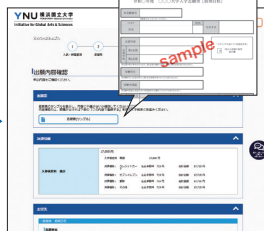
③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード  
**写真選択へ** ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の  
入力



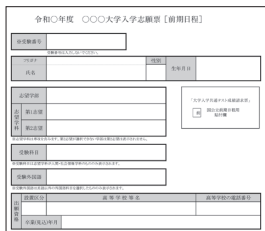
⑥出願内容の確認  
**志願票(サンプル)** ボタンを  
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了  
**引き続き支払う** ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法  
●コンビニエンスストア  
●ページ対応銀行ATM  
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF  
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ページ対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはページ対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号  
メモ(13桁)

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済  
番号メモ(11桁)

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページ対応銀行ATMの場合

お客様番号  
メモ(11桁)

確認番号  
メモ(6桁)

収納機関番号  
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ページで  
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

## 入学検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、  
FamilyMart



## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

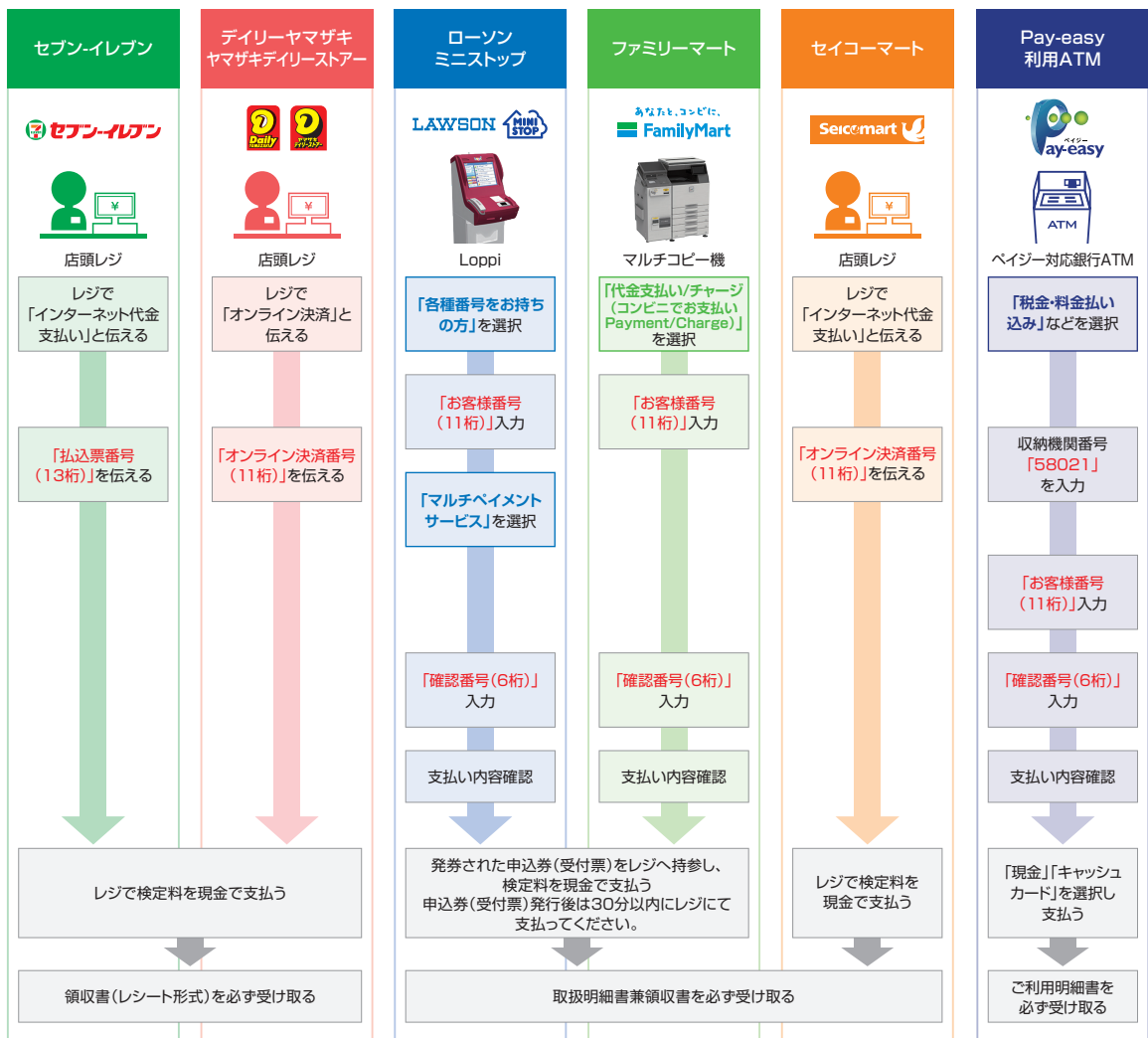
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



# STEP

# 6



## 必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達郵便**」で郵送してください。



### ■ 出願書類

詳細は学生募集要項の「出願書類等」を確認してください。

※ 出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

### 「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **志願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **志願票(印刷)** のボタンをクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

## 〈出願完了〉

### 出願時の 注意点

出願はWeb出願システムでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

Web出願システムの登録は24時間可能です。ただし、出願登録と入学検定料の支払いは出願締切日17時までです。出願書類は出願締切日までに大学へ到着するよう郵送してください。指定日時までに到着した場合に限り出願締切日前日の消印を有効としますが、ゆとりを持った出願を心がけてください。

# STEP

# 7



## 受験票の印刷

本学で出願を確認後、指定日までに一斉に受験票を配信します。 Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。





## 9 入試情報の提供等

### I 入試情報の提供

本学では、令和6年度(2024年度)一般選抜に関する情報を、以下のとおり提供します。

#### 1. 横浜国立大学ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/applicant/index.html>

提供情報	提供期間
各学部の志願者数 ※	令和6年(2024年)1月23日(火)～2月5日(月)
2段階選抜実施状況	実施の有無等について、決定次第情報を公表します。
追加合格等の実施状況	令和6年(2024年)3月28日(木)～3月31日(日)

※ 志願者数については、前日までの情報を各日9時頃に更新予定です。

#### 2. 入試情報の開示

横浜国立大学では、入試情報の開示を次のとおり行います。

##### (1) 入試問題の正解・解答例等の情報開示

- ① 入試問題(面接・実技を除く)の正解・回答例または出題意図(合格者発表後に概ね14日間程度開示します。)

横浜国立大学>入試情報>学部入試>入試の情報開示  
<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/public/index.html>

- ② 合格者の最高点、最低点、平均点(令和6年(2024年)4月中旬に開示します。)

ただし、合格者が5人未満の場合は開示しません。

注) 経済学部前期日程、後期日程及び経営学部前期日程については、偏差値の合計を併記します。

横浜国立大学>入試・入学>学部入試>過去の入試データ  
<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/enforce/index.html>

##### (2) 入試個人成績の情報開示

一般選抜の受験者についてのみ、総合点(大学入学共通テスト及び個別学力検査等の合計)及び調査書記載事項の学習成績の状況及び学習成績を開示します。経済学部の前期日程、後期日程及び経営学部の前期日程については、偏差値の合計で開示します。

###### ① 開示対象者

ウェブ出願登録時に希望した者を対象とします。

ウェブ出願登録期間 令和6年(2024年)1月15日(月)～2月2日(金)

###### ② 開示内容

(ア) 試験成績: 総合点(大学入学共通テスト及び個別学力検査等の合計)を開示します。

注) 経済学部前期日程、後期日程及び経営学部前期日程については、偏差値の合計で開示します。

(イ) 調査書: 調査書記載事項の全体の学習成績の状況及び学習成績概評のみ開示します。

###### ③ 開示方法

ウェブ出願サイトのマイページ上で開示します。ログインするためのIDとパスワードは必ず控えてください。特にパスワードを忘れた際は、出願時に登録したメールアドレスでのみ、リセットの作業が可能になります。

#### ④開示期間

令和6年(2024年)5月15日(水)～6月14日(金)

## II 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等（教育学部の個別学力検査等に関する提出書類を含む）に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

- ①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付、生協資料の送付）及び入学手続業務
- ②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料
- ③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）
- ④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）
- ⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。  
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

(2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(3) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。  
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

## 10 入学料および授業料の免除・徴収猶予制度

令和2年度（2020年度）より国の新しい「高等教育の修学支援新制度」が始まりました。意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯の学部生（留学生を除く）を対象として、

- （独）日本学生支援機構が行う「給付奨学金」 ※原則として返還不要
- 大学が行う「授業料減免」
- 大学が行う「入学料減免」 ※新入生のみ（1回限り）

を合わせて支援する新しい制度です。

支援を受けるためには、（独）日本学生支援機構が行う「給付奨学金」と大学が行う「授業料減免」や「入学料減免」にそれぞれ申し込みをする必要があります。

本学における「高等教育の修学支援新制度」の申請時期、申請方法などの詳細については、合格者へ送付する入学手続書類にてお知らせします。

なお、制度の詳細については、以下のウェブサイト等にてご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度【文部科学省ウェブサイト】

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

○奨学金の制度（給付型）【（独）日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト】

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

○進学資金シミュレーター【（独）日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイト】

（給付奨学金の該当区分や支援額についてシミュレーションすることができます）

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

本件問い合わせ先

学務・国際戦略部 学生支援課 経済支援係（学生センター2階1番窓口）

窓口時間：8：30～12：45／13：45～17：00（土・日・祝日除く）

TEL：045-339-3113 メール：[gakusei.keizai@ynu.ac.jp](mailto:gakusei.keizai@ynu.ac.jp)

# 学生の住居施設

2024 年春季募集

※出願や合格発表より前に入居申請手続きが必要となる場合があります。

申請期間の詳細は、各寮のウェブサイトを確認するか、各「お問い合わせ先」にご確認ください。

## 1. 学生寮について

横浜国立大学には、学生生活をサポートする4つの学生寮があります。中でも、日本人学生と外国人留学生が共同生活を通して異文化交流を体験できる寮が3つあります。「峰沢国際交流会館」、「常盤台インターナショナルレジデンス」、「大岡インターナショナルレジデンス」です。また外国人留学生のための「留学生会館」があります。常盤台インターナショナルレジデンスと大岡インターナショナルレジデンスは民間会社が管理運営をしています。  
なお、記載されている寄宿料・共益費の金額は改定する場合があります。

### ①峰沢国際交流会館

キャンパス至近の寮。東通門から徒歩5分。日本人222名、外国人留学生110名が居住可能。

居住棟：A棟(男子：1・2階62室、女子：3・4階58室)、B棟(男子棟、5階建、140室)、C棟(女子棟、3階建、72室)

共用棟：3階建

居住棟	居室	全室個室、ベッド、机、デスクライト、椅子、ロッカー、エアコン、ユニット型洗面・トイレ、ブラインド、電話端子、テレビ共聴アンテナ端子、インターネット
	共通施設	補食室(流し台、コイン式ガスコンロ、食器棚、瞬間湯沸器、電子レンジ、トースター、冷蔵庫)、コイン式シャワー室、郵便受け、自動販売機(B棟のみ)
共用棟	1階	交流室、男子洗濯室(コイン式)、女子洗濯室(コイン式)、自動販売機
	2階	事務室、ホール
	3階	会議室、ラウンジ、ホール

## 1. 【日本人学生】

① 入居資格：本学の学部・大学院に在学する正規生で経済的状況が本学入居基準を満たす者

\*既に本会館に2年間入居した者は除く。

② 入居期間：2年以内

③ 選考・決定方法：2023年10月または2024年4月入学生および通学所要時間1時間30分以上の者を優先  
入居有資格者の応募が入居定員を超える場合は、抽選  
入居決定発表は一般入試前期日程及び後期日程の合格発表日

④ 入居者の経費負担：電気、水道、ガス等の料金は別途負担

部屋の種類	寄宿料(月額)	共益費(月額)	合計
単身室(12㎡)	5,700円	5,130円	10,830円



⑤ 募集要項配付・応募期間

配付：2024年1月上旬予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

・学生支援課窓口(学生センター2階)配付または郵送請求

受付期間：2024年2月上旬～2月中旬 \*出願・合格発表前でも、左記期間内に申請が必要

## 2. 【外国人留学生】

① 入居資格：本学に学部生・大学院生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生として在学・在籍する外国人留学生(2024年4月入学予定者含む)

\*既に本会館または留学生会館に合計2年間入居した者は除く。

\*奨学期間(本学、派遣元機関を含む)から月額10万円を超える給付金を受給する者は応募できません。

② 入居期間：1年以内(留学生会館と合算)

ただし、空室がある場合に限り、2年目の入居が許可される場合があります

③ 選考・決定方法：応募者多数の場合抽選 \*詳細は外国人留学生用の募集要項をご参照ください。  
入居決定発表は2月下旬 \*都合により変更される可能性があります。

④ 入居者の経費負担：上記【日本人学生】④と同様

⑤ 募集要項配付・応募期間

配付：2024年1月上旬開始予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

・学生支援課窓口（学生センター2階）配付

応募期間：2024年1月上旬～2月中旬 **\*出願・合格発表以前でも、左記期間内に申請が必要**



②留学生会館【外国人留学生】

1981年に開館した外国人留学生専用の寮。通学時間は約1時間、地下鉄「弘明寺」駅・弘明寺商店街まで徒歩3分。横浜市の中心地にもアクセスしやすい。

単身室128室（階によって男女別、混合エリアあり）、夫婦室10室、家族室10室

居住棟	居室	ベッド、机、デスクライト、椅子、ユニットバス・トイレ、エアコン、カーテン、台所、インターネット
	共用部分	談話室、会議室、和室、学習室、図書室、洗濯室、飲み物自販機コーナー、公衆電話
	管理部分	館長・主事室、事務室、管理人室

① 入居資格：本学に学部生・大学院生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生として在学・在籍する外国人留学生（2024年4月入学予定者含む）

※既に本会館または峰沢国際交流会館に合計2年間入居した者は除く。

※奨学期間（本学、派遣元機関を含む）から月額10万円を超える給付金を受給する者は、単身室には応募できません。家族帯同の場合、家族室・夫婦室に応募できます。

② 入居期間：（単身室）1年以内（峰沢国際交流会館と合算）

ただし、空室がある場合に限り2年目の入居が許可される場合があります。

（夫婦室・家族室）2年以内（峰沢国際交流会館と合算）

③ 選考・決定方法：応募者多数の場合抽選 ※詳細は外国人留学生用の募集要項をご参照ください。

入居決定発表は2月下旬 ※都合により変更される可能性があります。

④ 入居者の経費負担：電気（全居室）とガス（夫婦室・家族室）は個人で契約してください。

部屋の種類	寄宿料（月額）	共益費（月額）	合計
家族室（42㎡）	11,900円	15,800円	27,700円
夫婦室（33㎡）	9,500円	14,380円	23,880円
単身室（16㎡）	5,900円	9,190円	15,090円

<https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>



dormitory

⑤ 募集要項配付・応募期間

配付：2024年1月上旬開始予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

・学生支援課窓口（学生センター2階）配付

応募期間：2024年1月上旬～2月中旬 **\*出願・合格発表前でも、左記期間内に申請が必要**





### ③常盤台インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2019年春に開館した常盤台キャンパス内にある新しい学生寮。

部屋のタイプは、共同生活を通じ、多様な文化体験ができるシェアユニットタイプ（学生8人が共同生活）とプライベートタイプ（完全個室）があります。いずれも建物内で男女用エリアに分かれています。

住居	シェアユニット 112戸（8.25～8.84㎡）	【共用部】リビング、キッチン、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、TV、本棚、炊飯器、ダイニングテーブル、チェア、電子レンジ、冷蔵庫、食器棚、電気ケトル 【居室（個室）】ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、デスクランプ、エアコン、天井照明
	プライベート 166戸（16.20～16.74㎡）	ミニキッチン、シャワー、トイレ、洗面、エアコン、ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、洗濯機置き場（洗濯機は付いていません）、デスクランプ、天井照明
共用部	交流スペース、コインランドリー、駐輪場、バイク置場、防犯カメラ、エレベーター5基	

- ① 入居資格：2024年4月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生
- ② 入居期間：最長で修業年限までの年数内
- ③ 選考・決定方法：2024年2月頃ウェブサイトで発表
- ④ 入居者の負担額

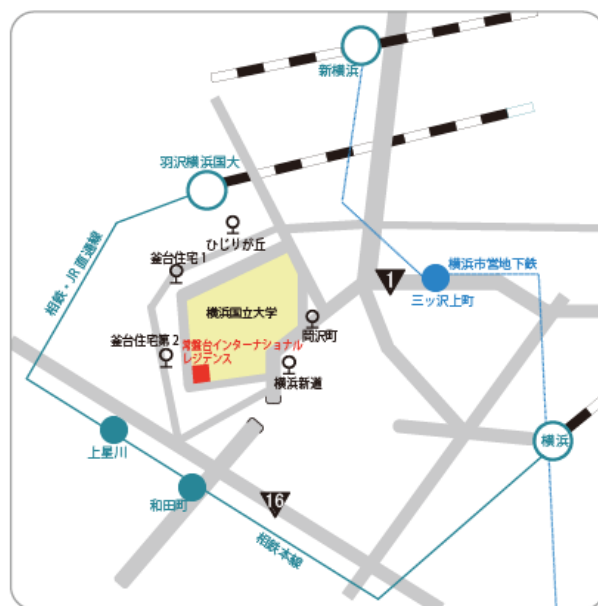
部屋の種類	賃料（月額）	共益費（月額）	水道光熱費（月額） *電気・ガス・水道インターネット代含	入居一時金
シェアユニット	32,500円	6,300円	15,510円（税込）	55,000円（税込）
プライベート	43,500円	6,300円	15,510円（税込）	55,000円（税込）

- ⑤ 募集要項配付・応募期間 2024年2月発表予定  
配付：常盤台インターナショナルレジデンスウェブサイト <https://tokiwadai-ir.jp/>

<https://tokiwadai-ir.jp/>



- ⑥ お問い合わせ先 常盤台インターナショナルレジデンス管理事務所  
TEL：045-900-1451 Email：tokiwadai@japt.co.jp  
〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-9



#### ④大岡インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2010年7月に会館した外国人留学生、日本人学生、外国人研究者、大学教職員が居住する、異文化共生ハウス。大学までの通学時間は約1時間。

建物1階にはコンビニエンスストアが入っており、地下鉄「弘明寺」駅、および弘明寺商店街まで徒歩3分。ワンルームは1～4階が男子用、5・6階が女子用。1Kは1～5階で男女混合となっています。

住居	ワンルーム 252戸 (12.26～12.55㎡)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫など ※キッチン、シャワー、ランドリーは共同になります
	1K室 27戸 (28.63～28.76㎡)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、浴室、キッチンなど
共用部	カルチャーホール、各階キッチンラウンジ、各階シャワー・ランドリー室 喫煙所、駐輪場、バイク置場、1Fコンビニ、オートロック、防犯カメラ、エレベーター2基など	

- ① 入居資格：2024年4月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生
- ② 入居期間：最長で修業年限までの年数内
- ③ 選考・決定方法：申込順（地理的状況、収入基準による選考基準無し、定員になり次第応募締切）
- ④ 入居者の負担額 \*詳細は2024年2月頃発表

部屋の種類	賃料 (月額)	共益費 (月額)	入居一時金
ワンルーム	33,000円	11,000円*インターネット代・水道代含	55,000円 (税込)
1K	60,000円	7,350円*インターネット代含	66,000円 (税込)

(ワンルーム)：電気代、コインランドリー・シャワー代は別途負担

(1 K)：電気代、ガス代、水道代は別途負担

- ⑤ 募集要項配付・応募期間 2024年2月発表予定  
配付：大岡インターナショナルレジデンスウェブサイト <http://www.int-residence.jp/>

<http://www.int-residence.jp/>



- ⑥ お問い合わせ先 大岡インターナショナルレジデンス管理事務所  
TEL：045-712-8870 Email：residence@japt.co.jp  
〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-2



## 2. 下宿・アパート等について

民間の下宿・アパート等を希望している方（学生寮の入居選考から外れた者を含む）のために、横浜国立大学生生活協同組合が学生生活に適した物件を紹介しています。

- ・資料請求・問合せ先：横浜国立大学生生活協同組合 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-10  
TEL：045-331-5217  
ウェブサイト：<https://www.univcoop.jp/ynu/index.html>  
<https://sumai.ynu-coop.jp>  
(横浜国立大学生協 物件情報検索サイト)

<https://www.univcoop.jp/ynu/index.html>



<https://sumai.ynu-coop.jp>



## 受験を要する大学入学共通テストの教科・科目等自己確認表

- (1) 志望学部・学科等が指定する「受験を要する教科・科目等」を受験したかをこの表により確認したうえで出願してください。出願書類として提出する必要はありません。
- (2) 都市科学部は都市社会共生学科用と建築学科、都市基盤学科及び環境リスク共生学科用に分かれています。
- (3) 確認は、各自で当該表の確認欄に○印等を記入するなどしてください。
- (4) 出願受付後に各学部・学科等が指定する教科・科目を受験していないことが判明した場合、(地理歴史・公民において、1科目を指定している場合で2科目受験したものは、第1解答科目で指定した科目を受験していない場合も含む。)個別学力検査等を受験できない旨の通知書を本人宛に送付します。
- (5) 科目選択に関する各学部の注意事項は、11～23ページを確認してください。

### ①教育学部

地理歴史・公民から1科目の場合 5教科7科目又は5教科8科目  
 地理歴史・公民から2科目の場合 5教科7科目又は5教科8科目  
 又は6教科7科目又は6教科8科目

教科	科目等	受験を要する科目数		前期日程 確認欄	後期日程 確認欄
国	「国語」	1			/
地歴	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	1又は2	3又は4		
公民	「倫理, 政治・経済」				
理	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	1から3			
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
数	「数学Ⅰ・数学A」	1			
	「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	1			
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1			

### ②経済学部

(前期日程) 地歴・公民から1科目の場合 5教科7科目  
 地歴・公民から2科目の場合 5教科7科目又は5教科8科目  
 又は6教科7科目又は6教科8科目  
 (後期日程) 5教科6科目又は5教科7科目

教科	科目等	受験を要する科目数		前期日程 確認欄	後期日程 確認欄
国	「国語」	1			
地歴	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	(前期) 1又は2	(前期) 3又は4 (後期) 2又は3		
公民	「倫理, 政治・経済」	(後期) 1			
理	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	1又は2			
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
数	「数学Ⅰ・数学A」	1			
	「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	1			
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1			



### ③経営学部

5教科6科目又は5教科7科目

教科	科目等	受験を要する 科目数	前期日程 確認欄	後期日程 確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」	1		
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」			
数	「数学Ⅰ・数学A」	1		
	「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	1		
理	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	基礎あり2 又は 基礎なし1		
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1		

### ④理工学部

5教科7科目

教科	科目等	受験を要する 科目数	前期日程 確認欄	後期日程 確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	1		
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」			
数	「数学Ⅰ・数学A」	1		
	「数学Ⅱ・数学B」	1		
理	「物理」、「化学」、「生物 (化学・生命系学科のみ)」	2		
外	「英語」(含リスニング)	1		

### ⑤都市科学部 都市社会共生学科

地歴・公民から1科目の場合 5教科7科目又は5教科8科目

地歴・公民から2科目の場合 5教科7科目又は5教科8科目

又は 6教科7科目又は6教科8科目

教科	科目等	受験を要する 科目数	前期日程 確認欄	後期日程 確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	1又は2		
公民	「倫理, 政治・経済」			
理	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」	1から3	3又は4	
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
数	「数学Ⅰ・数学A」	1		

	「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	1		
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1		

**建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科**

**5教科7科目**

教科	科目等	受験を要する 科目数	前期日程 確認欄	後期日程 確認欄
国	「国語」	1		
地歴	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	1		
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」			
理	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	2		
数	「数学Ⅰ・数学A」	1		
	「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	1		
外	「英語」(含リスニング)、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1		

# 横浜国立大学一般選抜出願書類チェックリスト

(この用紙は、出願時に提出する必要はありません)

## 【入学検定料支払い後の手続き】

1 市販の角形2号封筒に、「出願書類提出用宛名シート」を貼り付けてください。

2 次の4点を、上記1の封筒に封入してください。1つでも不足する場合、出願は受理されません。

封入 チェック欄	提出書類	注意点
	志願票	<b>記載内容の修正や追記をしないでください（手書き・PDF編集ともに不可）。誤りを見つけた場合の対処方法は、前期日程は26ページ、後期日程は39ページを確認してください。</b>
	大学入学共通テスト 成績請求票	志願票の所定欄に貼り付けてください。
	調査書等	調査書の提出対象者ではない場合は、学生募集要項に記載されている他の指定書類を封入してください。
	自己推薦書	学生募集要項巻末の様式又はウェブ出願登録後にダウンロードできる様式のいずれか（記載内容は同一）をダウンロード・印刷してから、指定された内容を記入してください。

※ 入学資格認定者は、上記4点の他に入学資格認定証明書を封入してください。

※ 出願書類の詳細については、前期日程は27ページ、後期日程は40ページを確認してください。

3 上記2の書類を全て封入した封筒を、出願期間内に郵便局窓口から書留速達郵便で郵送してください。

**出願はウェブ出願システムでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。**

## 【その他】

- 本学の前期日程と後期日程両方の選抜に併願する場合は、日程ごとに必要書類を取り揃え、日程ごとの「出願書類提出用宛名シート」を使用して別々に郵送してください。
- 出願書類の受付状況は、志願者自身によりウェブ出願システムのマイページ上で確認してください。出願ステータスが「出願申込確定」と表示されていれば、受付されています。
- 入学検定料免除者向けのチェックリストは別に用意します。該当者はウェブ出願システムでの登録後にダウンロードできるチェックリストを使用してください。

# キャンパス案内図

※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。



※大学構内のバス停は、平日のみ利用可能です。  
 ※構内の見学について  
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。  
 また、下記期間は見学できません。  
 大学入学共通テスト試験日(令和6年1月13日～14日)  
 個別学力検査等試験日(前期日程:令和6年2月25日)  
 個別学力検査等試験日(後期日程:令和6年3月12日)

**【大学構内のバス停について】**  
 路線バスは、以下の1～7の順序で停車します。(※平日のみの運行)

横浜国立大学正門前  
 1 ↓  
 国大中央 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7  
 国大北  
 国大西 [新り道し]





## 自己推薦書（教育学部用） 補足資料

これまでの生活の中で以下に挙げる経験がある場合には、その内容を記入し、それを示す資料を A 4 判の用紙にコピーし、資料番号を書き込んだ上で添付してください。

「分類」欄には、以下の A～C を記入してください。

- A. 高等学校や教育委員会等が行う教員養成のためのコースやセミナー等への参加、学校教育に関わる探究活動等
- B. 教員養成系大学・学部に関わるイベント（高大連携に関連する公開講座等）への参加
- C. 小学校の児童又は中学校の生徒とふれあう継続的な体験活動（ボランティア等）

分類	活動の内容・日程等	おおよその期間・ 時間・回数・単位等	資料番号

[注] 児童・生徒とふれあう継続的な体験活動や教職に関連する学習活動等の経験が無い場合は、提出する必要はありません。

[記入例]

分類	活動の内容・日程等	おおよその期間・時間・回数・単位等	資料番号
A	〇〇高等学校「教員養成〇〇」、「教員養成△△」を履修した。	高1～高2 各2単位	資料1
A	神奈川県立総合教育センター主催「高校生のための教職セミナー」に参加した。 ① 第1回「コミュニケーション能力の育成」(2023/6/25) ② 第〇回「△△△△△△△△△△」(2023/7/15) ③ 第〇回「□□□□□□□□□□」(2023/8/20)	高3 2時間×3講座	資料2
B	△△大学教育学部の公開講座に参加した。 ① 学校教員養成学部での学び(2022/7/25) ② 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(2023/3/25) ③ □□□□□□□□□□(2023/8/25)	高2～高3 2時間×3講座	資料3
B	〇〇大学教育学部オープンキャンパスの模擬授業に参加した。 タイトル「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」(2022/8/6)	高2 50分×1講座	資料4
C	◇◇小学校放課後児童クラブでの学習支援を継続的に行った。	高1～高2 月2回×2年間	資料5
C	〇〇市△△地区の小学生の野球チームのコーチを継続的に行った。	高1～高2 月1回×2年間	資料6
B※	●●大学教育学部オープンキャンパスの模擬授業に申し込み、参加が許可されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために中止になった。参加許可証と中止のお知らせのホームページ画像、この行事の志願者にとっての意義について本人が自書した文章を資料7とする。 タイトル「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」(2022/8/6)	高2 50分×1講座	資料7

※参加を予定していた行事や企画等が新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために中止・延期になり、成果が得られなかった場合、そのことに触れても構いません。その際、中止・延期になった大会や企画の名称を記し、成果獲得に向けた活動が、志願者にとってどのような意味をもったかについて述べてください。







◎ 入試情報

横浜国立大学 ウェブサイト <https://www.ynu.ac.jp/>

◎ 本要項についての問い合わせ先

学務・国際戦略部入試課 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8  
TEL : 045-339-3121 E-mail : nyushi1@ynu.ac.jp

教育学部 (学務係)	TEL 045-339-3261
経済学部 (経済学務係)	TEL 045-339-3508、3509
経営学部 (経営学務係)	TEL 045-339-3663、3664
理工学部 (理工学部入試係)	TEL 045-339-3821
都市科学部 (都市科学部学務係)	TEL 045-339-3124、4463

**\* 問い合わせは、志願者本人が行うこと。**